

RW シリーズ

保証書在中

大切に保管してください

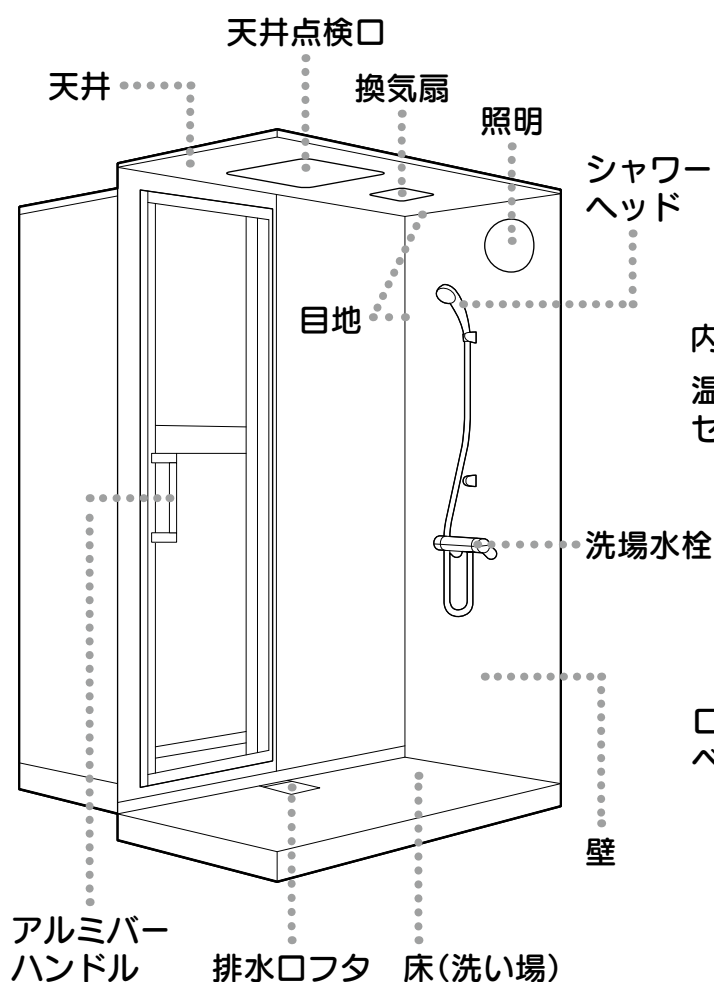
このたびは「リラサウナ」を お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は「リラサウナ」を長くご愛用いただくために、
正しい使い方やお手入れ方法などを説明しています。

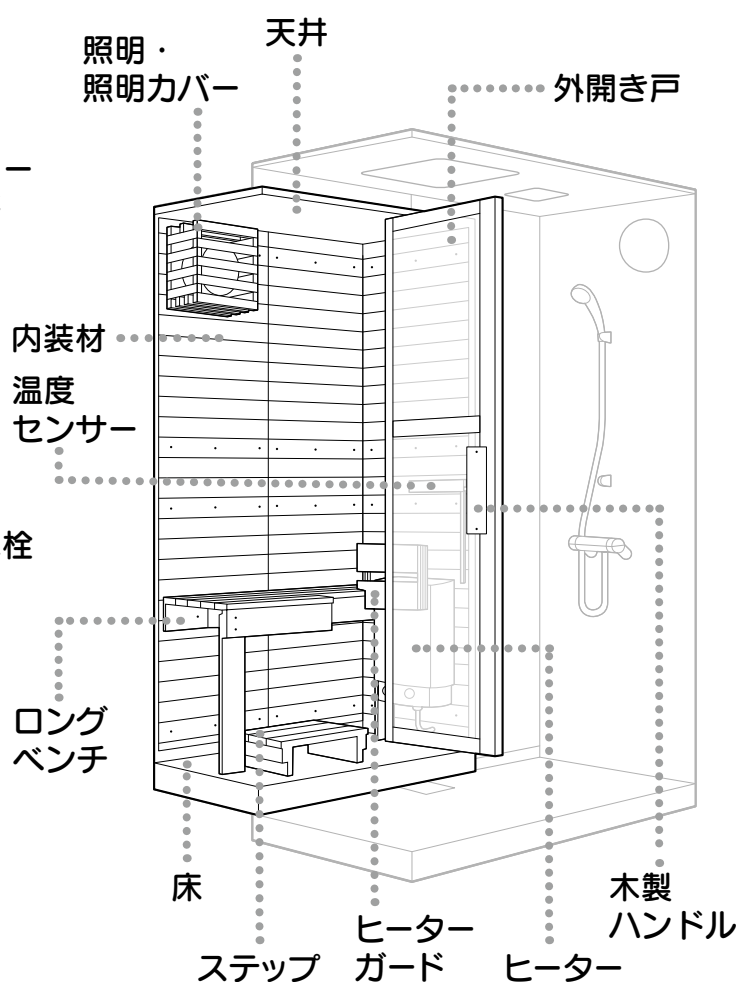
- ご使用前によく読んで正しくお使いください。
- 転居される場合、次に入居される方に、取扱説明書をお渡してください。
- 水栓・換気扇などの専用取扱説明書もあわせてお読みください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管ください。

各部のなまえ

シャワールーム



サウナルーム



この図は各アイテム組みあわせの一例です。
プランごとに組みあわせが異なったり付属しない部品もあります。

も く じ

安全に関する
ご注意はご使用前に
必ずお読みください。



水栓やドアなど、
各部品の使い方や、
使用上のお願いなどを
説明しています。



お手入れの
心がけや、部品ごとの
お掃除方法などを
紹介しています。



使っていて
不具合を感じたときに
お読みください。



ご使用の前に

安全上のご注意 4

使い方

洗い場で水栓を使う 12
洗い場を使う 15
サウナルームの床を使う 16
器具類を使う 17
ドアを開閉する 26
換気する 29
快適に使っていただくために 30

お手入れ

お手入れのキホン 32
シャワールームのお手入れ 37
サウナルームのお手入れ 39
水栓のお手入れ 42
ドアのお手入れ 44
照明のお手入れ 48
器具類のお手入れ 51
点検とメンテナンス(シャワールーム) ... 52
点検とメンテナンス(サウナルーム) ... 54

困ったときは

「あれ?」と思ったら 56
アフターサービスについて 60

安全上のご注意 ①

必ずお守りください

- ◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- ◎表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」を示しています。



注意

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」を示しています。

◎お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意 味
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、注意を喚起する図記号です。



警告



必ず行う

組み込まれる機器（ヒーターなど）については、それぞれの取り扱い説明書をよく確認し、製品全体に表示されている事項を守る

- 使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。



禁止

引火性の物やスプレー缶をサウナルーム内に持ち込んだり、近くに置かない

- 火災・爆発のおそれがあります。



禁止

サウナルーム内への可燃物（新聞・雑誌・タバコなど）や電子機器（PC・携帯電話など）を持ち込まない

- 火災や機器の故障の原因になるおそれがあります。



禁止

送風機や、バッテリーを含む電気機器を持ち込まない

- 火災や機器の故障、爆発のおそれがあります。



警告

機器に異常が感じられるときや、故障、破損したら直ちに電源を切り、使用を中止する

- 事故や故障の原因になるおそれがあります。



禁止

サウナルームで洗濯物を干したり、ヒーターをグリル代わりに使用するなど、サウナ以外の目的で使用しない

- 火災の原因となります。



禁止

サウナルームは子供だけで使用しない
ペットを入室させない

- 思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



禁止

温度センサーの位置を含む電気ヒーター、その他器具部品の分解や改造、指定外部品の使用をしない

- 感電、火災、ユニット部材の損傷、予期せぬ動作など、事故につながるおそれがあります。
- 改造によって事故が発生した場合、改造を行った者が法的責任を問われる可能性があります。
- 電気用品安全法により、PSEマークが無効になります。
- 改造を行った製品は、保証対象外になります。

安全上のご注意 ②

警告

ご使用の前に



禁止

サウナルーム内では口ウリュ目的・排水口のお手入れ以外で水を使用しない

- 感電や故障、木部材の変形・変色の原因になります。



禁止

ヒーターの電源コードなどを無理に引っ張らない

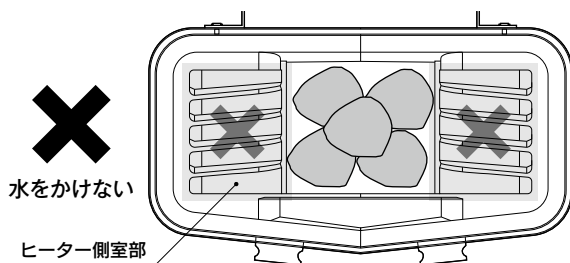
- 感電や故障の原因になるおそれがあります。



禁止

ヒーターの側室部に水を絶対にかけない

- 故障の原因となります。



必ず行う

サウナストーンは必ずヒーターメーカーの指定されたものを使用する

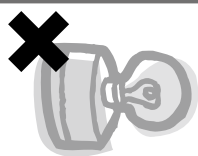
- 思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。サウナストーン仕様：急速加熱・冷却に耐える天然石（輝緑岩）



禁止

照明器具のカバーやグローブを外したり、破損したまま使わない

- 感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。



グローブなし



必ず行う

電球は必ず器具に表示してある種類、ワット(W)数の適合ランプを使用する

- 異なる種類、ワット(W)数のランプを使用すると、過熱によりやけどや器具が変形、変色したり火災の原因になります。



必ず行う

ヒーターは必ず人がサウナルームの近くにいる状態で運転する

その場を離れる際には、最低でも約30分毎に異常の有無を確認するか、電源を切る

- 思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。



必ず行う

サウナストーンを積み上げる際や、交換の時には必ず電源が「切」の状態、ヒーターが冷めてから行う

- 感電ややけどの原因になるおそれがあります。



禁止

照明器具や照明カバーにタオルなどを掛けない

- 過熱して火災の原因になるおそれがあります。

タオル
アクセサリ
を掛けない



禁止

照明器具、照明カバーにぶら下がったりしない

- 照明器具、カバーが落下してけがのおそれがあります。



接触禁止

照明器具は点灯中および消灯後しばらくは高温になるため照明器具には手を触れない

- やけどのおそれがあります。



必ず行う

サウナルーム使用前には毎回必ずタオルなどの可燃物がヒーターの上や周囲にない事確かめる

- 火災の原因となります。



禁止

ヒーターの上に物を置かない

- 火災の原因となります。



禁止

発熱時・泥酔時・極度の疲労時・心臓疾患・出血性疾患・妊娠中・体の不自由ほか、医師に禁止されている方、健康上の問題がある方は使用しない

- 思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



必ず行う

不快感・めまい・眠気・脱水症状ほか、体の異常などを感じた場合は使用を止める

- 思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



必ず行う

傷の不完全治療時・高血圧の方・健康状態に心配がある方などは、医師に相談し健康状態に合わせて使用する

- 思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

安全上のご注意 ③

ご使用の前に

警告



必ず行う

ロウリュに使用する水は、家庭用上水道水を使用する

井戸水・地下水・温泉水などは使用しない

- 故障の原因になるおそれがあります。



必ず行う

ロウリュはサウナストーンが十分にあたためてから行う(少量の水をかけ、蒸発しないようであれば時間を置いてから行う)

- 故障の原因になるおそれがあります。



高温注意

ロウリュを行うと蒸気が発生するため、火傷に注意する

- やけどのおそれがあります。



感電注意

ヒーター、照明器具、換気扇のお手入れは電源を切ってから、高温でないことを確認して行う

- 感電ややけどのおそれがあります。



高温注意

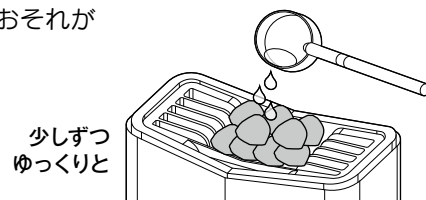


必ず行う

ロウリュする際の注ぐ水の量は、約50ccが適量です

勢いよくかけず、跳ね返りに気を付けながら、少しずつゆっくりとかける

- やけどのおそれがあります。



注意



注意

無理なサウナの入浴は避ける

- 我慢して長時間入浴すると健康を損なうおそれがあります。



禁止

壁・天井への穴あけ、釘打ちなどは絶対にしない

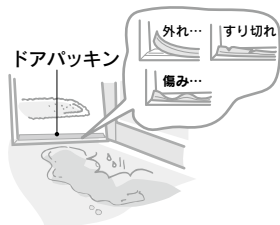
- 思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



禁止

床、壁、天井などの繋目部分にある目地やコーキング、ドアパッキンを傷つけたり、切ったり、取り外したりしない
また切れたり、浮いたまま使用しない

- 水漏れのおそれがありますので、すぐに修理をご依頼ください。



禁止

サウナルームの高温になった壁や天井、ドアに水をかけない

- 傷みの原因になります。



禁止

ヒーターの上に座ったり、足をのせたりしない

- やけどのおそれがあります。



高温注意



禁止

サウナストーンが割れた状態で使用しない

- 思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



禁止

センサーカバーやヒーターガードを外して使用しない
また、センサーカバーは使用中高温となるため触れない

- やけどのおそれがあります。



高温注意



禁止

サウナストーンを、ヒーターの側室上に積み上げない

- 空気循環が妨げられ、過加熱を引き起こすおそれがあります。



禁止

照明点灯中の光源を直視しない

- 目を傷めるおそれがあります。



禁止

ドアのハンドルや引き手にぶら下がったり、無理な力をかけない

- ドアが外れ、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意 ④

⚠ 注意



注意

サウナルームドアはシャワールームの水が侵入しないよう段差ドアとなっている為、つまずき、転倒に注意する

- けがをするおそれがあります。



禁止

ドアのパッキンが切れたり、外れたまま使用しない

- 水漏れのおそれがあります。



禁止

サウナルームドアのガラス部分に勢いよく水をかけない

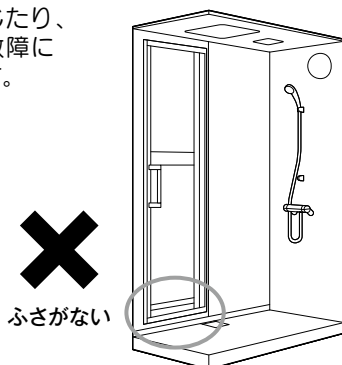
- ガラスが割れてけがをするおそれがあります。



禁止

サウナルームのドア下にある吸排気口をふさがない

- 息苦しく感じたり、ヒーターの故障につながります。



禁止

体重が100kgを超える人はロングベンチ・ステップを使用しない(耐荷重100kg)

- 事故や破損の原因になるおそれがあります。



禁止

ロングベンチ上で足をのばしたとき、壁を押さない

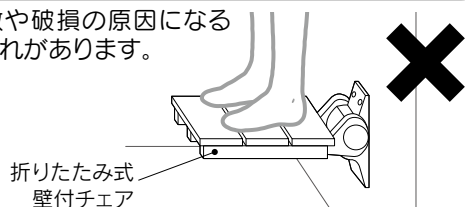
- 事故や破損の原因になるおそれがあります。



禁止

ロングベンチ・折りたたみ式壁付チェアの座面の上に立ったり、下に潜り込まない

- 事故や破損の原因になるおそれがあります。



禁止

ドアに勢いよく水をかけない

- サウナルーム内へ水が入り、機器の故障につながり、水漏れのおそれがあります。



必ず行う

サウナルームの使用中はドアを必ず閉める

- サウナルーム外へ熱が逃げ、家材などの傷み、ヒーターの故障につながります。



禁止

サウナルームドアの下枠、接続枠を勢いよく踏まない

- 変形や割れなどの破損、水漏れのおそれがあります。



禁止

壁やベンチ、ステップ、折りたたみ式壁付チェアなどの木部材に割れ、ササクレが発生した時は使用しない

- 破損部でけがをするおそれがあります。修理、交換はお買い上げの販売店などに依頼してください。



禁止

体重が80kgを超える人は折りたたみ式壁付チェアを使用しない(耐荷重80kg)

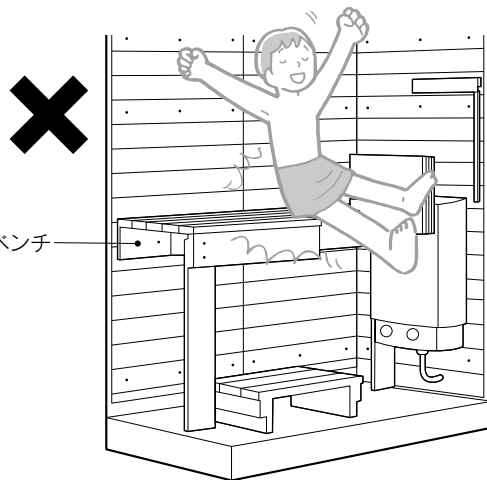
- 事故や破損の原因になることがあります。



禁止

ロングベンチ・折りたたみ式壁付チェアに勢いよく座ったり、座面の端に座らない

- 事故や破損の原因になるおそれがあります。



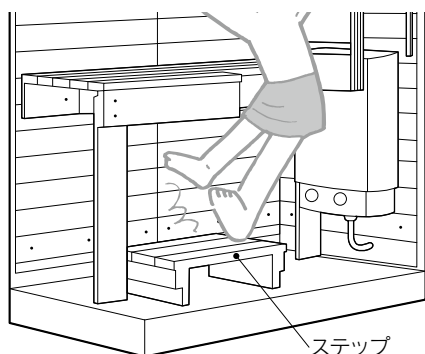
安全上のご注意 ⑤

⚠ 注意



ステップに飛び乗ったり、飛び降りたりしない

- 転倒してけがのおそれがあります。



ステップ



接触禁止



高温注意

温度計の表面は加熱により熱くなるため、ヒーター運転中は触れない

- やけどのおそれがあります。



禁止

砂時計に硬いものをぶついたり、水をかけない

- ガラスが割れてけがをするおそれがあります。



禁止

握りバーに乗ったり、ぶら下がったりしない

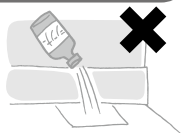
- 破損や転倒によるけがのおそれがあります。



禁止

シャワールームの排水口にシンナーなどの溶剤を流さない

- 排水部分が破傷して水漏れの原因になるおそれがあります。



必ず行う



高温注意

サウナルームのお手入れは十分に冷めてから行う

- やけどのおそれがあります。



禁止

サウナルーム内のお手入れに硬い素材のスポンジやブラシ類を使用しない

- 表面に傷がつく原因になります。



禁止

ステップをサウナルーム以外で使用しない

- 思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



禁止

ステップを引きずったり、投げたりしない

- 破損の原因につながります。



禁止

靴下、スリッパなど滑りやすいものをはいてステップに乗らない

- 転倒してけがのおそれがあります。



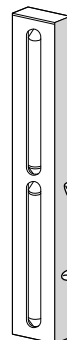
禁止

砂時計のガラス面や表面、上下面は加熱により熱くなるため触れない

- やけどのおそれがあります。操作する際は側面を持ってください。



高温注意



側面を持って操作する



禁止

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

- 金属やゴムが腐食・劣化して、水漏れの原因になります。



禁止

サウナルーム内のお掃除（拭き掃除）は強くこすらない

- 傷がつく場合があります。



禁止

サウナルーム内および折りたたみ式壁付チェア天板の木部材のお掃除には洗剤を使用しない

- 変質・変色・変形のおそれがあります。お掃除は固く絞った柔らかい布で水拭きしてください。



安全上のご注意 ⑥

⚠ 注意

ご使用の前に



照明器具のお掃除に洗剤は使用しない

- 変質・変色・変形のおそれがあります。



必ず行う

器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは必ずお買い上げの販売店などに相談する

- 誤った取り付けをすると、思わぬ事故や水漏れの原因となるおそれがあります。



禁止

壁や天井、器具類に硬いものをぶついたり無理な力を加えない

- 破損してケガをしたり、周囲のコーキングが切れ、水漏れの原因になります。



接触禁止

サウナルーム使用中は石を含むヒーターに触れない

- やけどのおそれがあります。



注意

サウナルーム使用時はメガネを外す

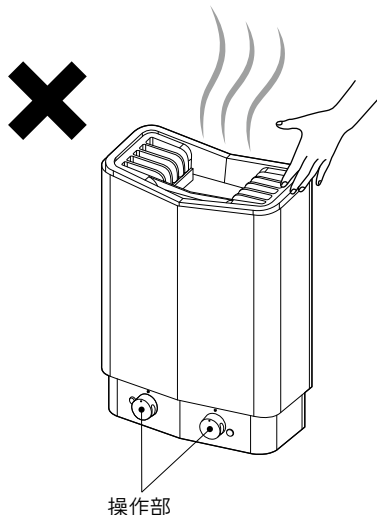
- 高温による変形、レンズの曇り、やけどのおそれがあります。



接触禁止

ヒーターを運転中は操作部以外に触れない

- やけどのおそれがあります。



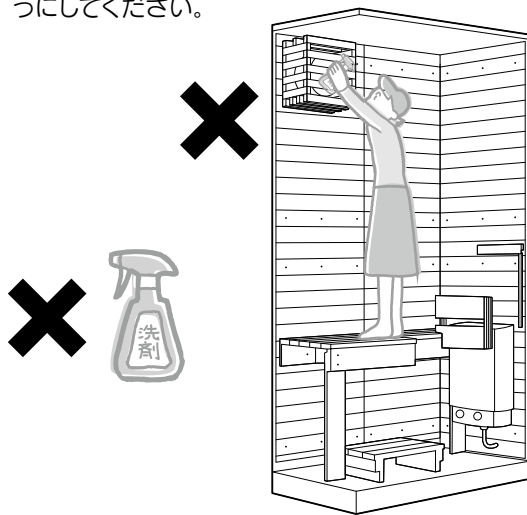
操作部



禁止

照明のお手入れには、安定した踏み台を使用すること
ベンチの上に立ってお手入れはしない

- ベンチからの転倒、落下のおそれがあります。踏み台の下には敷物をするなどして、床を傷つけないようにしてください。



接触禁止



高温注意

サウナルーム内の壁や天井、ドア本体、ガラス、器具類は高温となるため直接触れない

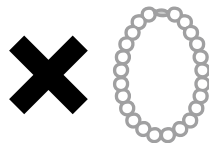
- ベンチや背もたれ部はタオルを敷いてのご使用を推奨しています。



禁止

貴金属類(メガネ・ピアス・ネックレスなど)を着用したままサウナルームへ入らない

- やけどのおそれがあります。



注意

サウナルーム使用時はコンタクトレンズを外す

- 高温によるレンズの曇り、乾燥による外れや目に貼りつくおそれがあります。



注意

発汗により体から水分が失われるため、サウナの使用後は十分に水分補給を行う



必ず行う

使用後はヒーターの電源を切る

- 思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

安全上のご注意 ⑦

⚠ 注意



必ず行う

設置して8～10年経過したヒーター・照明器具は、点検・交換をおすすめします。点検、交換はお買い上げの販売店などに依頼してください。

- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。



禁止

ドアを勢いよく開閉したり、無理な力を加えたりしない

- 手や足を挟んでけがをするおそれがあります。



注意

ドア開閉時は手や足の挟み込み等に注意する

- けがをするおそれがあります。



禁止

ロングベンチ、ステップ、折りたたみ式壁付チェアを2人以上で使用しない

- 事故や破損、壁の傷の原因になるおそれがあります。



注意

折りたたみ式壁付チェアの座面を開閉するときは指の挟み込みに注意する

- 指を挟んでけがにつながるおそれがあります。座面の開閉はゆっくり行ってください。



禁止

折りたたみ式壁付チェア付近の壁に貼り付けられているクッションは剥がさない

- 事故や破損、壁の傷の原因になるおそれがあります。



禁止

ステップの端に立たない

- 転んでけがをするおそれがあります。



必ず行う

ドアががたつく、うまく閉まらない、スムーズに開閉しないときに調整しても直らない場合は使用をやめる

- 破損やけがのおそれがありますので、修理をご依頼ください。そのままにしているとけがをしたり、元に戻せなくなります。



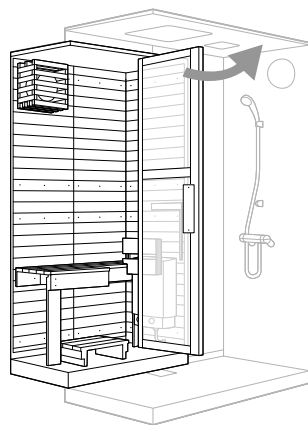
必ず行う

ドア上部には、開度ストッパーが付いているためストッパー位置より無理に開けない

- 破損するおそれがあります。



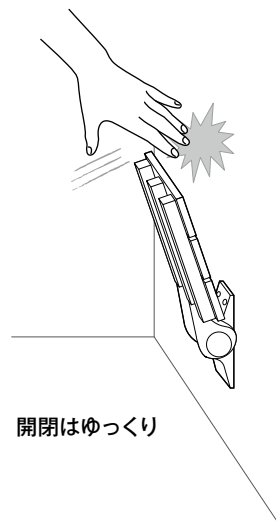
無理に開けない



注意

折りたたみ式壁付チェアの座面を勢いよく開閉しない

- 事故や破損、壁の傷の原因になるおそれがあります。また指を挟んでけがにつながるおそれがあります。



開閉はゆっくり



注意

温度計の表示温度は多少のズレがある

- アナログ式のため、表示に時間がかかり、体感温度と異なる場合があります。

安全上のご注意 ⑧

⚠ 注意

ご使用前に



必ず行う

シャワールームの床が石けんや湯あかで濡れているときは洗い流す

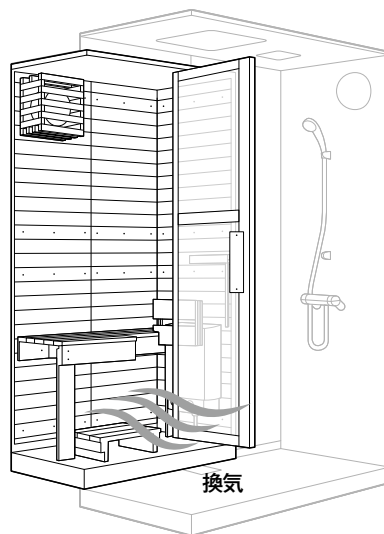
- 転んでけがをするおそれがあります。



必ず行う

サウナルーム使用後はサウナルームのドアを開放してシャワールームもしくは脱衣所の換気扇をONにして、サウナルーム内を換気する

- 木部材のかび発生を抑制します。



禁止

お手入れの際は、サウナルームの排水口以外に水をかけない
また、シャワーを使用しない

- 感電や故障、木部材の変形、変色の原因になります。



必ず行う

● 排水機能なしの場合
サウナルームの排水口に水が溜まっている時は、ふき取る

- サウナルームの排水口には排水機能がありません。死に水となり異臭の原因になります。



禁止

● 排水機能ありの場合
サウナルームの排水口にシンナーなどの溶剤を流さない

- 排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。



必ず行う

● 排水機能ありの場合
サウナルームの排水口に洗剤や、塩素系漂白剤、配管洗浄剤などを流した場合は洗面器で水を静かに流し、十分に洗い流す

- 洗剤を付着したままにすると、排水部分が損傷して水漏れの原因になることがあります。



必ず行う

照明のグローブ・カバーは、定期的に清掃する

- グローブ・カバーに埃などがたまると、熱がこもり、変質・変形・割れのおそれがあります。



注意

ロウリュを行う時は、水を少しずつゆっくりかける

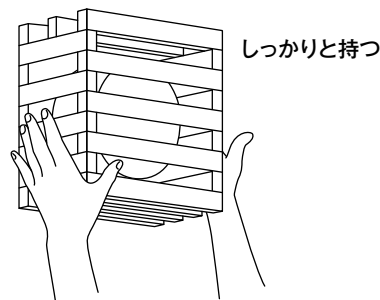
- 高温蒸気や水の跳ねかえりでやけどのおそれがあります。



必ず行う

照明のグローブ・カバーの取付け、取外しは必ず両手でしっかり持ちながら行う

- グローブ・カバーを落とすと、足などをけがするおそれがあります。また、変形や割れなど、グローブ・カバーが破損する原因となります。

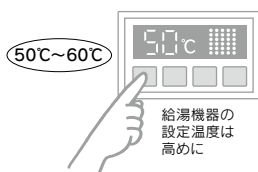


洗い場で水栓を使う①

ご使用にあたってのお願い

給湯機器の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定

快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。



詳しくは給湯機器や水栓の専用の取扱説明書をご覧ください。

操作部以外は触らずに

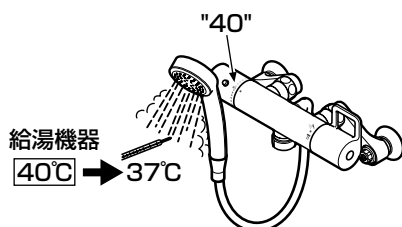
お湯を出すと水栓表面が熱くなるので操作部以外は触らないでください。



サーモ水栓のしくみ

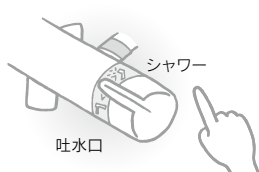
サーモ水栓は、湯と水を混合して、吐水温度を調整しています。このため、ガス給湯機器や電気温水器などの給湯機器で設定している温度より、吐水温度が低くなります。

(例) 給湯機器の設定を40℃、サーモスタット混合栓の目盛りは"40"でも、吐水温度は37℃に下がるなど低下する温度は水压などご使用の条件によって異なります。



切り替え操作はよく確かめて

切替ハンドルはシャワーと吐水口の位置をよく確かめて操作してください。



湯温の確認も忘れずに

水栓からお湯を出すときは洗面器などにお湯をためて手で軽く温度の確認をしてください。



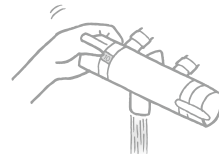
ハンドル操作はゆっくりと

切替ハンドルを急激に動かすと配管を傷める原因になりますのでゆっくりと操作してください。



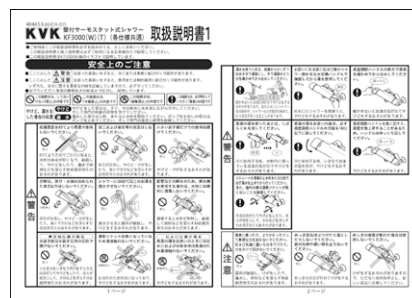
熱いお湯には気をつけて

熱いお湯を出したあとは水栓の中が熱いのでしばらく水を出してください。



専用説明書の確認

水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。



壁付水栓の場合

水栓・シャワーヘッドはこの他のタイプが使用されます場合があります。

割り込み

Q & A

Q. シャワーヘッドの水が、なかなか止まらないのですが。

A. メタル調やマッサージタイプの大きなヘッドのシャワーは水切れに時間がかかります。しばらくして(1分程)止まりますので異常ではありません。



洗いで水栓を使う ②

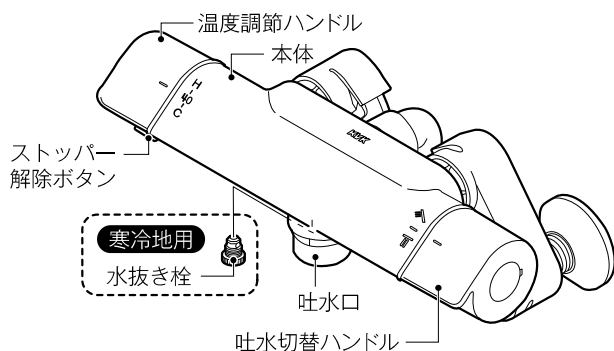
壁付サーモシャワー水栓

専用説明書の確認



- 洗い場水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。

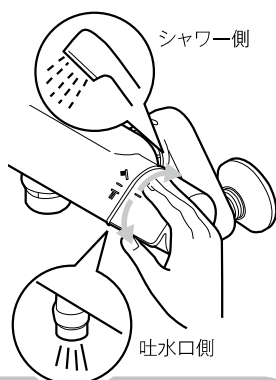
各部のなまえ



水栓はこの他のタイプが使用される場合があります。

吐水・シャワーの切替

- シャワーは、切替ハンドルを上にもわすと水が出ます。また、上いっぱいにもわすと流量が最大になります。
- 吐水口は、切替ハンドルを下にもわすと水が出ます。また、下いっぱいにもわすと流量が最大になります。

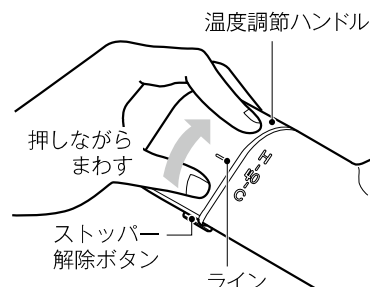


お願い

- メタル調のシャワーヘッドは、ぶついたり落としたりしないでください。
表面のメッキが割れてけがをするおそれがあります。万々メッキが割れた場合は、直ちに新しいシャワーヘッドに交換してください。
- ワンストップシャワーの使用後は、必ずシャワー止水ボタンを出の状態にして、水栓金具本体のハンドルで止水してください。
水栓金具本体のハンドルで止水しないと、器具が破損するおそれがあります。

温度の調節

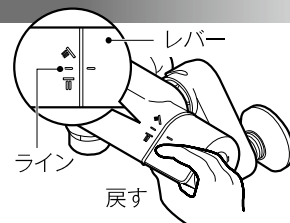
- 温度調節ハンドルをまわし、好みの温度をラインに合わせてください。目盛りは『40』を目安としてください。
- 40℃以上のお湯を出すには、ストッパー解除ボタンを押しながらハンドルをまわしてください。
- ストッパー解除ボタンを押して高温のお湯を出した場合は、ハンドルを必ず目盛り『40』以下に戻しておいてください。



目盛りの『40』は吐水温度の目安です。

水(湯)を止める

- 切替ハンドルのレバーを水栓本体のラインの位置まで戻すと水が止まります。



割り込み

Q & A

Q. シャワーヘッドの水が、なかなか止まらないのですが。

A. メタル調やマッサージタイプの大きなヘッドのシャワーは水切れに時間がかかります。しばらくして(1分程)止まりますので異常ではありません。



凍結予防のしかた

- 水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因になります。
- 凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- 凍結が予想される地域で水栓を使うときは、水栓内の水が凍らないよう凍結予防の作業を行ってください。

凍結による破損は保証期間内でも有料修理になります。

一般地用の場合

- 一般地用の水栓は以下の処置によって凍結を予防してください。
- 水栓より少量の水を出す。 ● 配管部などに保温材を巻く。

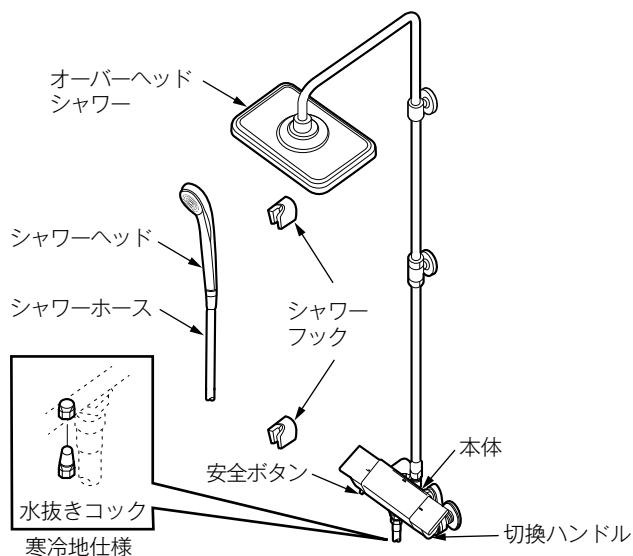
寒冷地用の場合

詳しくは専用の取扱説明書をお読みください。

洗い場で水栓を使う ③

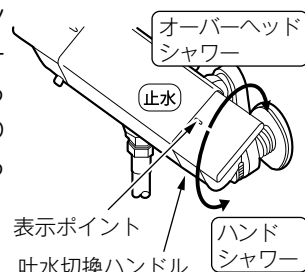
オーバーヘッドシャワー水栓

各部のなまえ

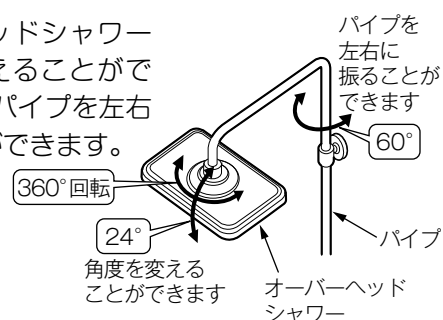


吐水・シャワーの切替

- シャワーは切り替えハンドルを上にもわすとオーバーヘッドシャワーから水が出ます。また下にもわすとハンドシャワーから水が出ます。



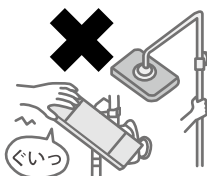
- オーバーヘッドシャワーは角度を変えることができます。またパイプを左右に振ることができます。



お願い

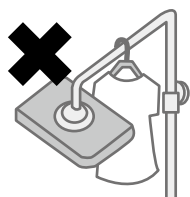
- 器具にのったり、パイプ部を握り棒として使用しないでください。

器具が破損し、けが・水漏れのおそれがあります。

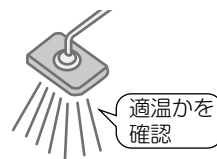


- オーバーヘッドシャワーやパイプ部にぶら下がったり物を掛けたりしないでください。

器具が破損し、けが・水漏れのおそれがあります。



- オーバーヘッドシャワーの使い始めは水が出ます。適温かどうか確かめてからお使いください。



- オーバーヘッドシャワーを止めた直後、水滴が落ちることがありますが、これは異常ではありません。気になる場合はオーバーヘッドシャワーを水平にしてお使いください。

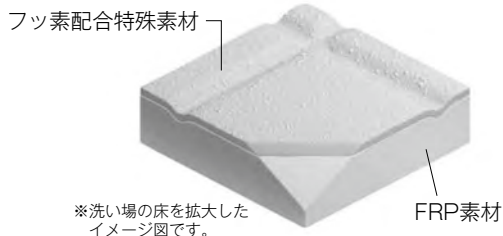


洗い場を使う

床について

洗い場の床は排水効果が高く、またすべりにくい微細なパターンとなっています。このパターンの性能を維持させ、長く快適にご使用いただくためには、定期的なお手入れが必要になります。

- 温クリンフロアは皮脂汚れが付きにくく、落としやすくなるように配慮した商品ですが、汚れが付かない商品ではありません。必ず定期的にお手入れをお願いします。



お手入れ方法は38ページ「床のお手入れ」に従ってください。

シャワールームの洗い場での排水について

シャワールームの洗い場排水口には、排水トラップ（水をためて臭気止めをする機構）がついています。



注意



- 排水口にシンナーなどの溶剤を流さない
 - 60℃以上のお湯を流さない
- 排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。

お願い

- 排水口のヘアキャッチャーを取り外した状態で使用しないでください。
毛髪やごみなどの詰まりの原因となります。
- 排水トラップの封水を切らさないでください。
封水がなくなると、排水管内に発生しているガスが、メッキ・金属製品やゴム部品の腐食や変色の原因になります。



注意



シャワールーム内は石けん液などですべりやすくなるので気をつける
ころんでけがをするおそれがあります。

割込み

Q & A

Q. 旅行から帰ってきたら、シャワールームから変なおいがしました。異常でしょうか。

A. 長期間留守にした場合、排水トラップにためている水：封水が蒸発し、排水管の臭気がぼり、シャワールームに悪臭が発生する場合があります。
この場合は、シャワールームとサウナルームの排水口に洗面器1杯の水をそれぞれ静かに流し、シャワールームの排水トラップの封水をためて排水管の臭気を抑えてください。

Q. 使用できない洗面器・風呂いすはありますか？

A. 浴室用以外のものは避けてください。なお、浴室用であれば木製のものでもご使用できます。

Q. 毛染め液をこぼしたらどうなりますか？

A. 染み込んで取れなくなるおそれがあります。広がらないようすぐにふき取って、洗い流してください。

Q. お手入れで取れない汚れはありますか？

A. さびがつくと取れなくなります。
ヘアピンやカミソリの刃などを床に置いたままにしないでください。もらいさびがつきます。

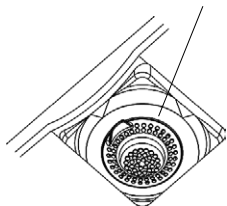
サウナルームの床を使う

サウナルームの床での排水について

サウナルームの床は、排水機能がついているものとついていないものでお手入れ方法が異なります。

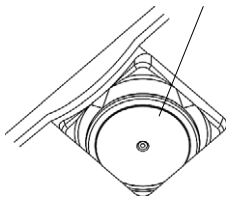
●排水機能あり

ヘアキャッチャー付



●排水機能なし

排水穴なし



●排水機能ありの場合

サウナルームの排水管は、バスルームの排水トラップにつながっています。



注意



- 排水口にシンナーなどの溶剤を流さない
- 60℃以上のお湯を流さない
- 排水口に洗剤を流した場合は、洗面器で水をゆっくりと静かに流す
排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。

お願い

- 排水口のヘアキャッチャーを取り外した状態で使用しないでください。
毛髪やごみなどの詰まりの原因となります。
- サウナルームの排水口は最低1週間に1回洗面器1杯の水をゆっくりと静かに流してください
排水管の臭気のぼりを防止します

●排水機能なしの場合



注意



サウナルームの排水口に水がたまっている場合は、ふき取る
サウナルームの排水口には排水機能がありません。死に水となり異臭の原因になります。

器具類を使う①

専用取扱説明書の確認

以下の機器は専用の取扱説明書をご用意していますので、使い方はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。



換気扇



換気乾燥機

給湯機やその他の機器についても、専用の取扱説明書がある場合は、よくお読みになって正しくご使用ください。

鏡について

お願い

- 鏡に物をぶついたり、たたいたりしないでください。割れるおそれがあります。

割り込み

Q & A

Q. 鏡がくもるのはなぜでしょうか。また、くもらないようにする方法はありませんか。

A. 鏡のくもりは、入浴中の温かい空気に含まれる水分が冷たい鏡の表面にふれ、水滴となって現れる現象です。この水滴の粒が鏡を見づらくさせるのです。
一般タイプの鏡の場合は、石けん水を含んだタオルで鏡の表面をふいていただくと水膜ができ、一時的にくもりを抑えることができますのでお試しください。

照明



警告



照明器具にタオルなどを掛けない

過熱して、火災の原因になるおそれがあります。

照明器具のカバー・グローブを外したり、破損したまま使わない

感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。

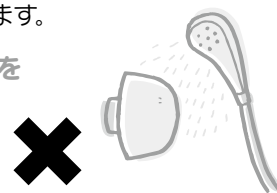
照明器具のカバー・グローブに荷重を加えない

グローブが落下してけがをするおそれがあります。

LEDランプのLED素子にはバラツキがあるため、同じ形式でも光の色、明るさが異なることがあります。

お願い

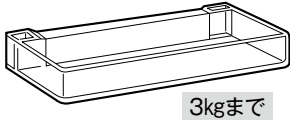
- 器具の改造や部品の交換は行わないでください。落下、感電、火災などの原因となります。
- ランプを外したまま、使用しないでください。感電、火災などの原因となります。
- 点灯中及び消灯後しばらくは高温になっていますので、照明には手を触れないでください。やけどの原因となります。
- 照明を長時間見つめないでください。目がちがつかうことがあります。
- 照明には直接水やお湯をかけないでください。故障の原因となります。



器具類を使う ②

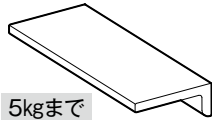
収納棚

- ワイドシェルフ
- スマートシェルフ



3kgまで

- プレーンシェルフ



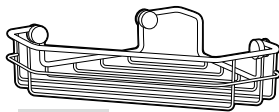
5kgまで

- ワイヤーラック(浅型)



3kgまで

- ワイヤーラック(コーナー型)



6kgまで

アドバイス



ワイヤーラックは、水切れの良い構造となっています。高さのあるシャンプーボトルなどで底部面積が小さいもの(直径6cm以下程度)を浅型タイプに置いた場合、不安定になることがあります。また、コーナー型の場合は、深さがありますが、ワイヤーの間隔が広がっています。もし、ボトルの底部がだ円形状であれば、長い側をワイヤーと直交させる向きで置く方が安定します。お使いになるボトルでお試しのうえ、ご使用ください。

お願い

- 各棚(1段ごと)に  で表示した重量以上のものを置かないでください。特にワイヤーラック(コーナー型)は、平均的にものを置いてください。

置くものの重さが限度を超えたり、かたよって置くと変形や破損の原因になり、置いているものが落下してけがをするおそれがあります。

- 棚にぶら下がったり、強く引っばらないでください。

破損したり、転倒などで、けがをするおそれがあります。

- クレンジングオイルなどの洗顔料や整髪料、バスオイルなどの入浴剤や洗剤を置く場合、液だれがないよう、ふきとって置いてください。

液に含まれる成分が棚を傷めるおそれがあります。

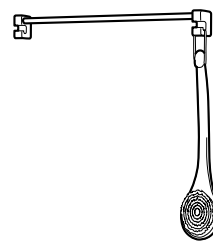
- さびやすいものを棚に放置しないでください。

もらいさびにより、さびがとれなくなるおそれがあります。

タオル掛け

タオル掛けのフック付タイプは、ブラシなどの小物を下げて使用できます。

- フック付きタオル掛け



⚠ 注意

- ⊘ タオル掛けにつかまり立ち上がったり、ぶら下がったりしない

破損したり、転倒などでけがをするおそれがあります。

お願い

- タオル掛けに1kg以上のものを掛けしないでください。

変形や破損の原因になります。

器具類を使う ③

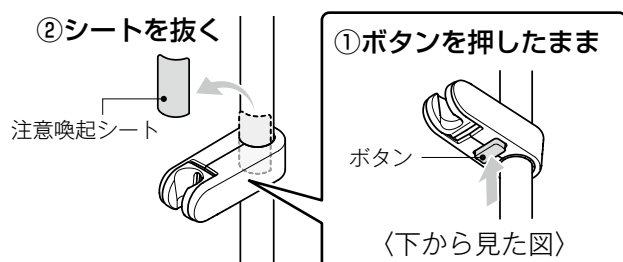
シャワーフック付握りバー

(シャワーフックが正面向きの場合)

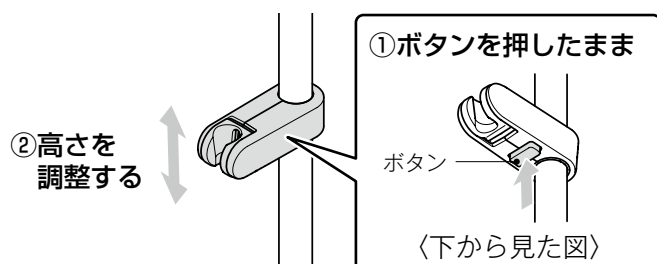
シャワーフック付握りバーは、シャワーフックが上下スライドして、使いやすい位置に高さや角度を調整できます。

●フロントフックタイプ

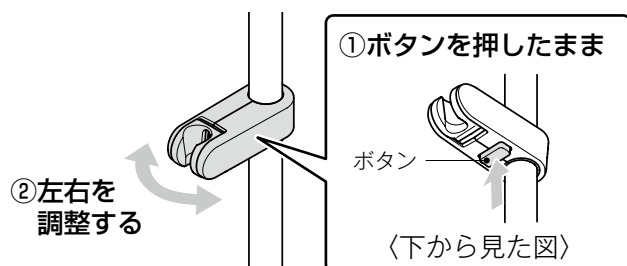
はじめて使用するとき



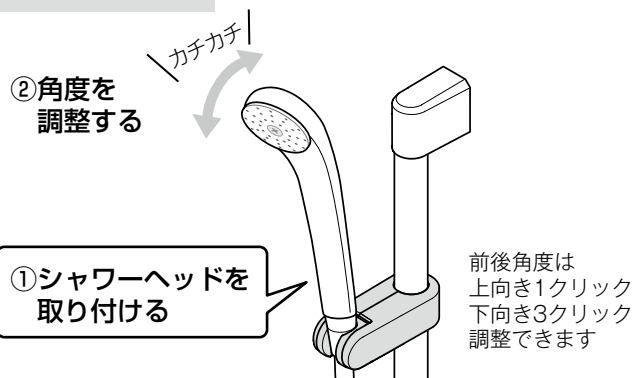
高さ調整の仕方



左右調整の仕方



角度調整の仕方



お願い

- シャワーフックにつかまり、立ち上がったりしないでください。
無理な力が加わり、上下に動き転倒などでけがをするおそれがあります。
- 上下移動は必ずボタンを押しながら行ってください。
無理な力で移動させるとスライド機構の破損の原因になります。
- シャワーヘッドを引っ掛ける際は、シャワーフックにしっかりと掛かったか確認してください。
シャワーヘッドを落としてけがをするおそれがあります。
- シャワーフックを鏡にぶつけないでください。
- 角度調整はゆっくり行ってください。
- シャワーの勢いが強い場合は、吐水量を調整してご使用ください。
シャワーの勢いで角度や向きが変わったり外れたりするおそれがあります。
- バーに付着したシャンプー・リンス・洗剤などは十分に洗い流してからご使用ください。
付着したまま使用されますと、フックの保持力が弱まるおそれがあります。
- シャワーヘッドからの水垂れが気になる場合は、前後角度を調整してください。

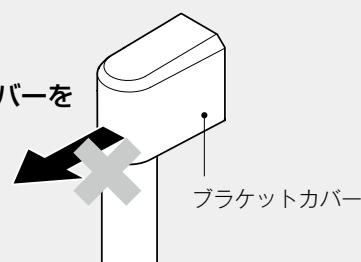
握りバー

⚠ 注意

- ❌ 握りバーの、ブラケットカバーを外して使用しない

握りバーが破損したり、けがをするおそれがあります。

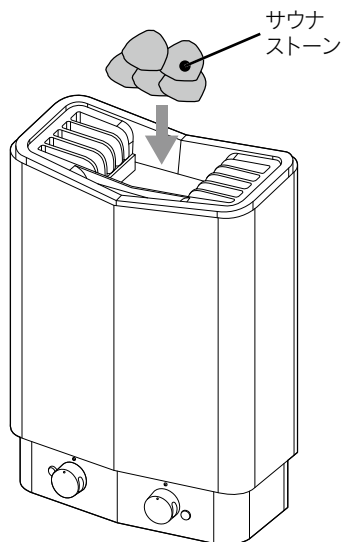
ブラケットカバーを外さない



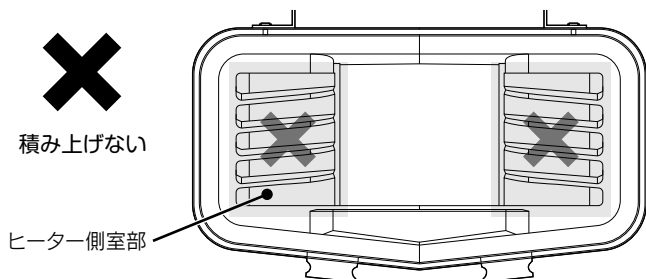
器具類を使う ④

ヒーター

- ご使用になる前に使用する前にヒーターの取扱説明書をよく読み、運転前にサウナストーンを積み上げてください。



×
積み上げない



お願い

- サウナストーンなしでヒーターを運転させないでください。思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。
- サウナストーンはヒーター上端まで積み上げ、無理に押し込まないでください。
- サウナストーンが崩れるほど山積みにはしないでください。
- 製造段階で発生した異物がヒーターやサウナストーンに付着することで、白煙と異臭が発生する場合があります。初めてヒーターを使用する場合は、以下に従って試運転を行ってください。
 1. 温度設定を最大にし、ヒーターを運転してください。
(温度設定の方法は15ページを参照ください。)
 2. サウナルーム内を30分～1時間温めてください。
※この間はサウナルーム内にとどまらず、ドアガラス越しに異常がないかを随時、確認してください。
 3. サウナルームドアを開け、シャワールームまたは脱衣所の換気扇をONにし、サウナルーム内を十分に換気してください。
再度ヒーターを運転した際に、白煙や異臭がなければその後、サウナに入浴いただけます。
白煙や異臭が発生する場合は上記の①～③を繰り返してください。



警告



サウナストーンは必ずヒーターメーカーの指定されたものを使用する

思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

サウナストーン仕様：急速加熱・冷却に耐える天然石(輝緑岩)



サウナストーンを積み上げる際や交換時には必ず電源が「切」の状態で、ヒーターが冷めてから行う

感電ややけどの原因になるおそれがあります。



サウナストーンは投げ入れず、ゆっくり積み上げる

思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。



注意



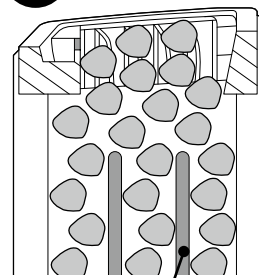
サウナストーンが割れた状態で使用しない
思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。



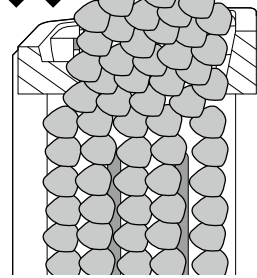
サウナストーンをヒーターの側室上に積み上げない

空気循環が妨げられ、過加熱を引き起こすおそれがあります。

サウナストーン積上状態 (断面図)



発熱体



無理に押し込まない
発熱体が破損する
おそれがあります。

器具類を使う ⑤

ヒーター

●ヒーターについて

電気ヒーターは、サウナルームの室温調整のため、自動で ON/OFF を行います。

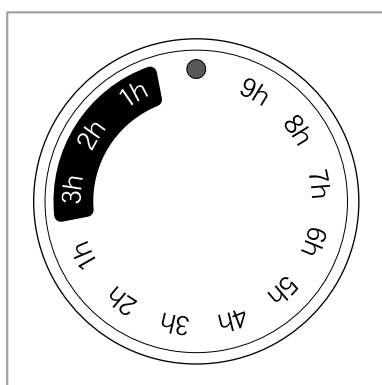
最大設定の場合、室内中央付近で約 60℃～80℃(ヒーター ON/OFF 繰り返し)の雰囲気温度となります。

※天井付近で 95℃より高くはなりません。※環境温度条件により、変動します。

●本体操作について

ヒーター本体の左側についているダイヤルを時計回りに回していただき、好きな時間を選んでください。

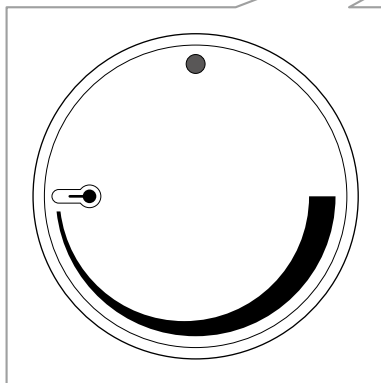
(最大稼働時間：3 時間 ※白文字の 1 ～ 3h)



そのあとに続く1～9hは
タイマー機能となります。

例)2hに設定した場合、
2時間後に加熱を
開始します

※加熱開始から
約30分程度で
ご入浴いただけます。



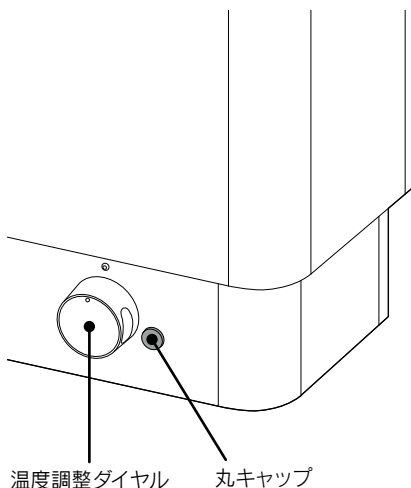
ヒーター本体の右側についているダイヤルは温度設定に使用します。時計回りに回していただき、お好みの温度に設定してください。

お願い

●温度設定ダイヤルを力いっぱい回さない

サウナルーム内を安全な温度にするためにダイヤルが途中で止まります。無理に回すと故障の原因になるおそれがあります。

ヒーターの安全装置



サウナストーン積み方、細かなサウナストーンの混入によりヒーター本体の熱が外に逃げなくなり、内部が熱くなりすぎると、ヒーター内部の温度センサーが働き、自動で電源が切れることがあります。

(ご使用中にサウナルームの温度が上がらない、発熱体が30分以上たっても赤くならない状態になります)

その際は、一度ヒーター本体の左側のダイヤルを反時計回りに回して電源を切り、ヒーターが十分に冷めたことを確認した後で、サウナストーンの状態を確認し、積み直しをおこなってください。

その後、温度調整ダイヤル横の黒い丸キャップを外して中のリセットボタンを尖ったもので押してください。

電源を入れなおし、それでもサウナ室内の温度が上がらないなど異常が見られた場合には、お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。

器具類を使う ⑥

ヒーター

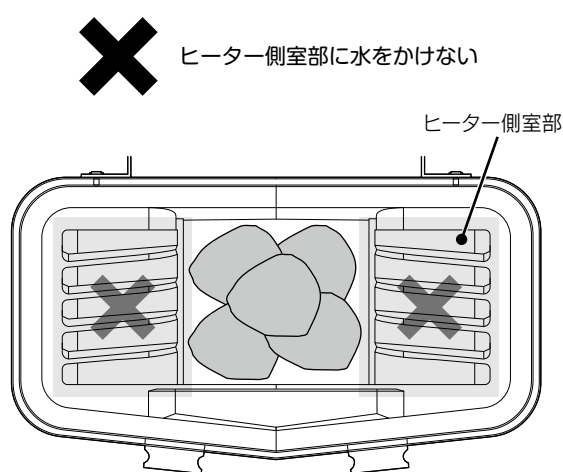
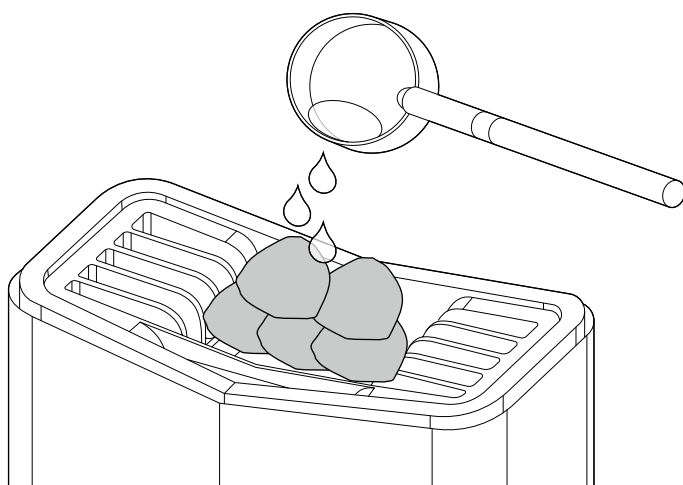
●ロウリュについて

サウナストーンの部分に水をかけてロウリュをお楽しみいただけます。

1 度にかける量はレードルの約 1/4 程度 (約 50cc) が適量です。

(ロウリュに使用された余分な水は、ヒーター本体下部より排出され床排水口内に流れ込みます。

サウナルームのお手入れ①に従い清掃ください。)



警告



ヒーター側室部に水を絶対にかけない
故障の原因となります。



ロウリュに使用する水は、家庭用上水道水を使用する
井戸水・地下水・温泉水などは使用しない
故障の原因になるおそれがあります。



ロウリュはサウナストーンが十分にあたたまってから行う
(少量の水をかけ、蒸発しないようであれば時間を置いてから行う)
故障の原因になるおそれがあります。



ロウリュを行うと高温の蒸気が発生するため、水は少しずつゆっくりかける
やけどのおそれがあります。



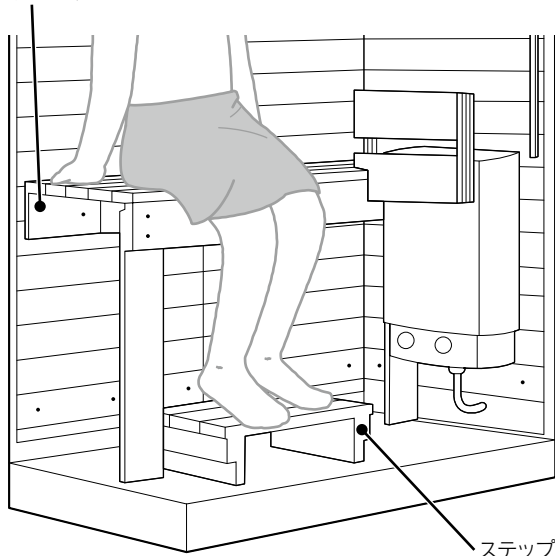
注ぐ水の量は約50ccが適量ですが、少しずつ量を増やしていきください
水が飛びはねるおそれがあるため勢いよくかけず、跳ね返りに気を付けながら
少しずつゆっくりとかける
やけどのおそれがあります。

器具類を使う ⑦

ロングベンチ・ステップ

サウナルームで入浴をする際はロングベンチ・ステップをご利用ください。

ロングベンチ



⚠ 注意



体重が100kgを超える人は使用しない
ロングベンチ・ステップ(耐荷重100kg)
事故や破損の原因になるおそれがあります。



勢いよく座ったり、座面の端に座らない
事故や破損の原因になるおそれがあります。



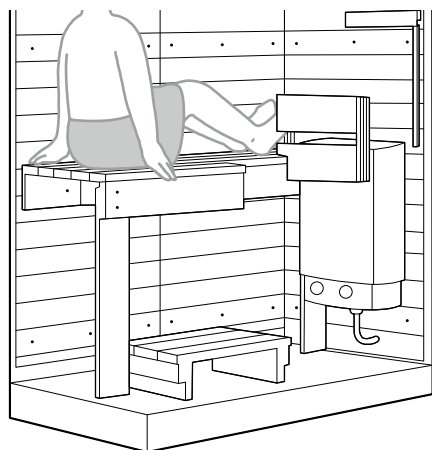
天板に割れ、ササクレが発生したときは
使用しない
破損部でけがをするおそれがあります。
修理・交換はお買い上げの販売店などに
頼ってください。

使い
方



アドバイス

サウナルーム内では床の近くほど温度が低くなり、ドア下の吸排気口から冷気が入り込み足元が寒く感じる場合があります。その場合はロングベンチの上に足を乗せて座ることで足元も温かく入浴いただけます。



注意



足をのばして壁を押さない
事故や破損の原因になるおそれ
があります。

入浴中に発生した汗がロングベンチなどの木部材に付着すると、シミの原因になるため、タオルを敷いての入浴をおすすめします。



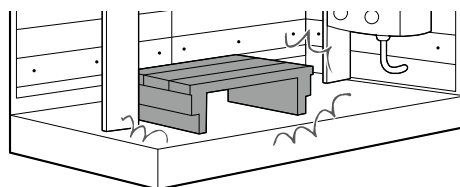
警告



ヒーター上部や周囲にタオル
を置かない
火災の原因となります。

お願い

- ステップは床の排水勾配の上に設置するため、ガタツキが多少発生します。飛び乗ったり、飛び降りたりするなどして転倒することがないよう十分ご注意ください。



器具類を使う ⑧

折りたたみ式壁付チェア

サウナルーム入浴後のクールダウンに折りたたみ式壁付チェアをご利用いただけます。

使い方



⚠ 注意



体重が80kgを超える人は使用しない
(耐荷重80kg)

事故や破損の原因になるおそれがあります。



勢いよく座ったり、座面の端に座らない
事故や破損の原因になるおそれがあります。



天板に割れ、ササクレが発生したときは
使用しない

破損部でけがをするおそれがあります。

修理・交換はお買い上げの販売店などに
頼ってください。

お願い

- 毛染め液や漂白剤を使用しないでください。
座面のコーティングが傷むおそれがあります。
万が一付着した場合は、すぐに洗い流してくだ
さい。



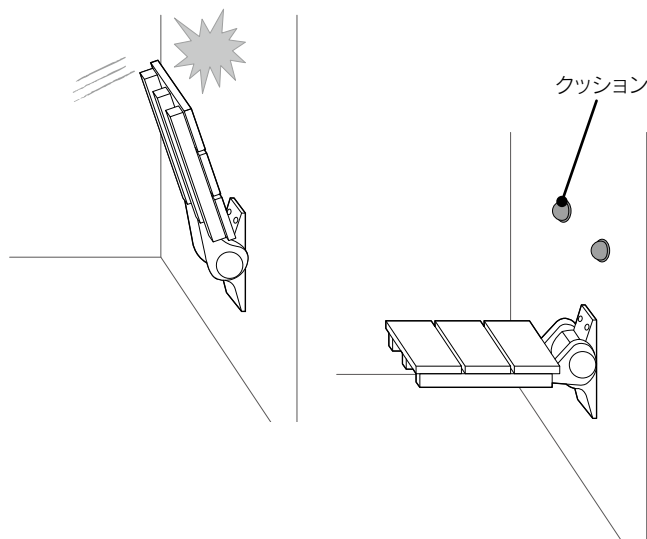
注意



勢いよく座面を開閉しない
事故や破損、壁に傷が入る可能性があります。



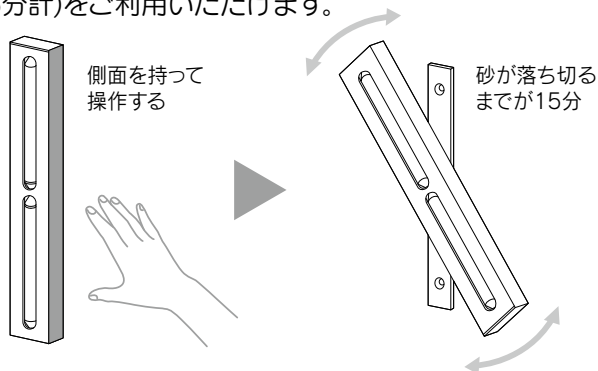
壁に貼付けられているクッションは剥が
さない
事故や破損、壁に傷が入る可能性があります。



器具類を使う ⑨

砂時計

サウナルームで入浴する際、時間の目安として砂時計(15分計)をご利用いただけます。



⚠ 注意



砂時計のガラス面や表面、上下面は加熱により熱くなるため触れない

やけどのおそれがあります。



操作する際は側面を持ってください。



硬いもののぶついたり、水をかけない

ガラスが割れてけがをするおそれがあります。



砂時計の取付け位置を変えない

- ・ヒーターから離し、高温の熱の影響を受けにくい場所に設置されています。
- ・高温が長時間続く場所へ取付けた場合、製品の変形・ガラス管の破損・砂が落ちにくくなるなどの不具合を生じるおそれがあります。



本体取付けビスが壁にしっかり固定されているか、定期的を確認する

使用するにつれてビスが緩み、砂時計が落下してけがをするおそれがあります。



勢いよく回転させない

- ・回転した砂時計に接触し、けがをするおそれがあります。
- ・固定したビスが緩みやすくなり、砂時計が落下してけがをするおそれがあります。

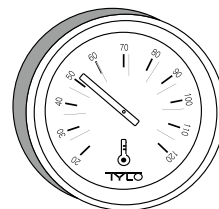


時間の誤差により生じる損害・損傷・災害については責任を負いかねます

- ・本製品は精密機器ではございません。
- ・時間は目安としてお使いください。
- ・砂がガラス管に付着した場合は、砂時計を軽くたたくと剥がれます。

温度計

入浴中の室内温度の目安としてご利用いただけます。



注意



表面が熱くなるためヒーター運転中は触れない

やけどのおそれがあります。



温度計の取付け位置を変えない

適切な温度を示さなくなるおそれがあります。



温度の誤差により生じる損害・損傷・災害については責任を負いかねます

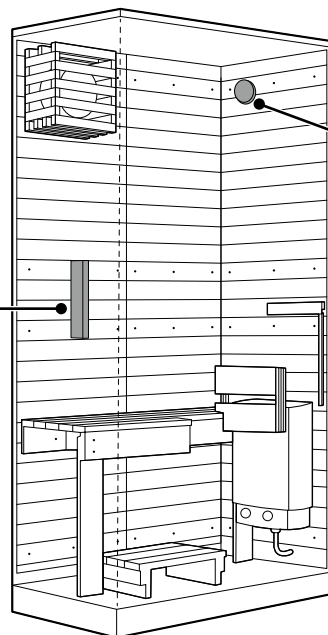
- ・本製品は精密機器ではございません。
- ・温度は目安としてお使いください。

背面側

正面側

温度計

砂時計



ドアを開閉する ①

ご使用にあたってのお願い

⚠ 注意



ドアに勢い良く水をかけない
サウナルーム内へ水が入り、機器の故障に
つながり、水漏れのおそれがあります。

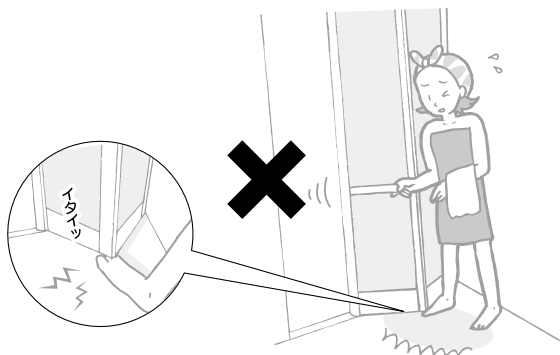


ドアのパッキンが切れたり、外れたまま
使わない
水漏れのおそれがあります。

ドアの開閉は
勢いよくしないで

ドアを勢いよく開閉したり無理な力を加えたり
しないでください。

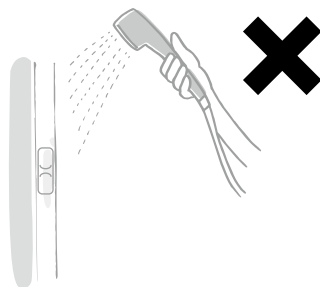
手や足を挟んでけがをしたり、シャワールーム外に水
やお湯が出るおそれがあります。



ドアのつまみ(ロック)に
シャワーをかけないで

ドアのつまみ(ロック)にシャワーをかけないで
ください。

ロックの故障原因になるおそれがあります。



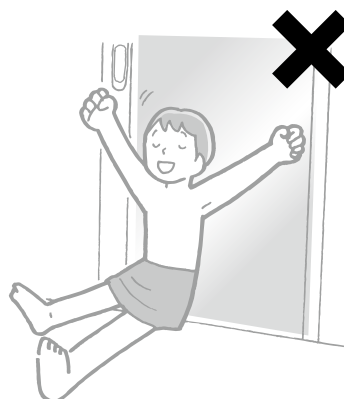
ハンドル(引手)に
体重をかけないで

ドアのハンドルや引手に体重をかけたり、お子
さまがぶら下がったりしないようにしてください。
ドアが外れ、けがをするおそれがあります。



ドアにずっと
寄りかからないで

ドアにずっと寄りかからないでください。
ドアの面材が変形したり、割れてけがをするおそれ
があります。



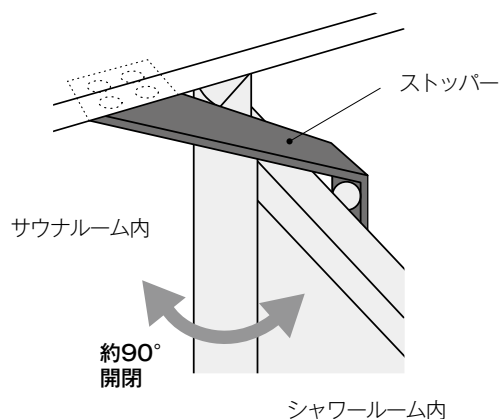
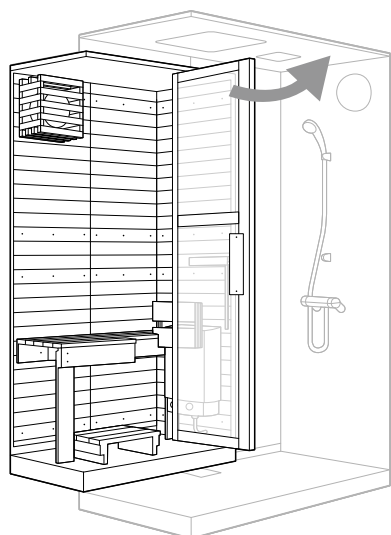
ドアには換気口(ガラリ)があるものとないものが
あります。タイプによっては操作が異なる場合があ
りますので、ご使用のドアのタイプを確認ください。

ドアを開閉する ②

外開き戸

ドア開閉時の注意点

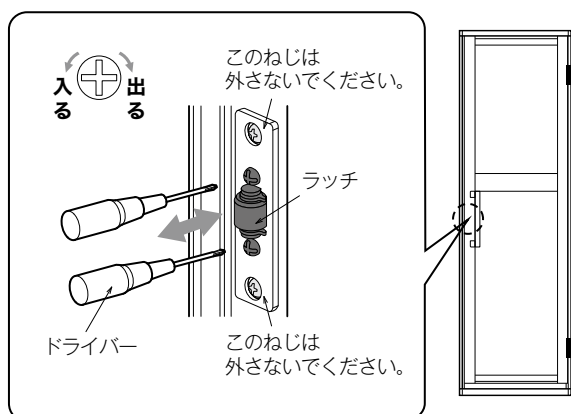
サウナルームドアの上部には、開度ストッパーがついています。
ストッパー位置より無理に開けないでください。



使い方

ドア開閉の調整

ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときはドア框のラッチ(ローラー状)の出入りを調整してください。

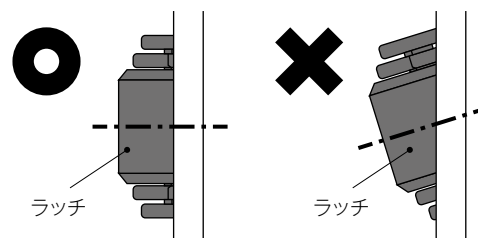


チェック 詳しくは45ページをご覧ください。

お願い

- ラッチ上下のねじは均等に同じ方向にまわしてください。

上下ねじの回転数がかたよるとラッチが傾き、ドア開閉ができなくなるおそれがあります。

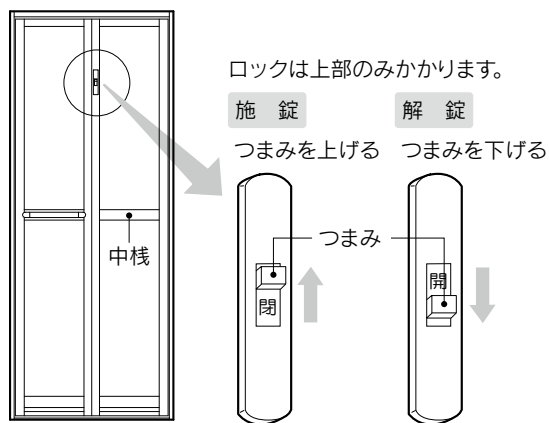


ドアを開閉する ③

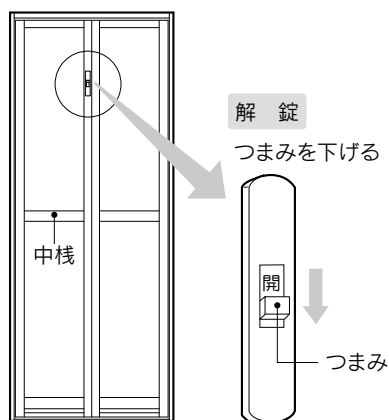
折戸(ガラリあり、なし共通)

ロック(施錠)する ※ロック付きの場合

- シャワールームからの施錠と解錠



- 脱衣室からの解錠(非常救出時)

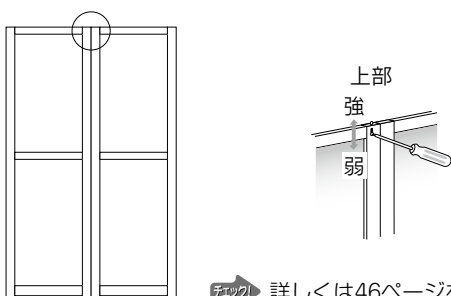


必ずドアを閉めた状態でつまみを操作してください。
中棧のないタイプもあります。

ドア開閉の調節

- 開閉力調節方法

開閉が軽すぎる、または重すぎる場合は、図のねじをゆるめて、上下に調整してください。調整後はねじを確実にしめてください。(ガラリありの場合)



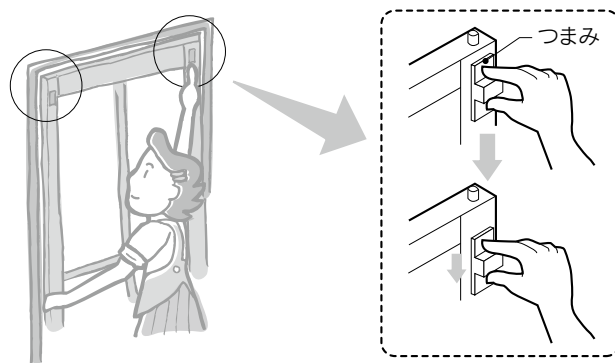
詳しくは46ページをご覧ください。

ドアを取り外す

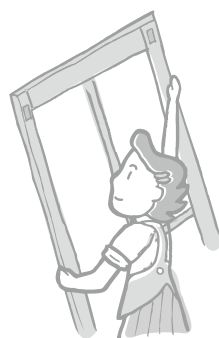
非常時は脱衣室側よりドアを取り外すことができます。
ドアの仕様によっては、ドアを取り外すことができないものがあります。

取り外し方

- ①ロック付きの場合、解錠します。
- ②○で囲んだ部分のつまみ(2ヶ所)を下げながらドア上部をシャワールーム側に倒してください。
その際ドア上部は片方ずつ外してください。



- ③両手でしっかりとドアを持ち、脱衣室側に取り外してください。



取り付け方

取り付けは逆の手順で行ってください。

ドア本体に貼られている取り付け方のラベルも参照してください。

⚠ 注意

⊘ 非常時以外はつまみに触らないでください

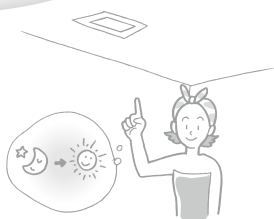
換気する

換気の心がけ

サウナルーム、シャワールームを蒸気のこもったままにしておくと、悪臭やかびなどの発生原因になります。特にサウナルーム木部材の傷みが早くなることもありますので、換気・乾燥を心がけましょう。

換気は3時間を目安に

不十分な換気はかびの原因になります。入浴後、換気扇を3時間目安に運転してください。



24時間換気に対応していない換気扇で24時間の換気運転をすると、換気扇のご使用年数が極端に短くなります。専用の取扱説明書もあわせてお読みになって、ご使用ください。

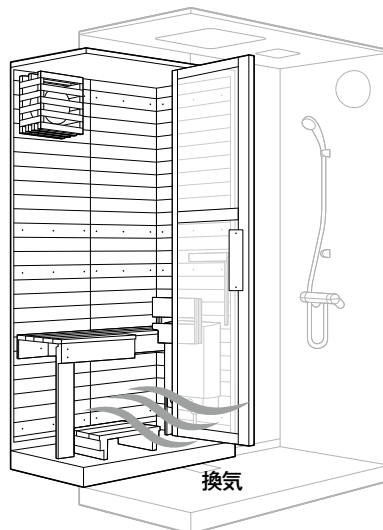
使用中の換気は避けて

換気扇内で発生した結露水が落ちてきたり、ドアのガリから脱衣室の空気が流れ込み寒く感じる場合がありますので、使用中の換気は避けてください。

注意



使用後はサウナルームドアを開放してシャワールームもしくは脱衣所の換気扇をONにしてサウナルーム内を換気する
木部材のかび発生を抑制します。



使い方

専用説明書の確認

換気扇、換気乾燥機は専用の取扱説明書をご用意しています。使い方などはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。



換気乾燥機
の場合



換気扇の場合

換気扇、換気乾燥機はこの他のタイプが使用される場合があります。

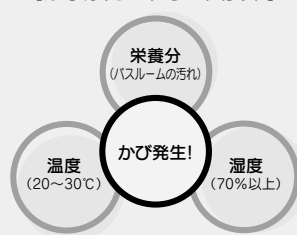
割り込み

Q & A

Q. 換気していればかびは発生しませんか。

A. かびは温度、水分、栄養の3点が揃うと繁殖するので、換気だけでかびの発生を抑えることはできません。かびの栄養源になるシャワールームの汚れを取り除いてから、湿を防ぐための換気をすることが、かびの発生を抑えるポイントになります。かびが生えない清潔なシャワールームを保つには、こまめなお手入れと十分な換気を心がけましょう。

【かびが発生する3大要素】



快適に使っていただくために

全般

お願い

- サウナ機器に異常が感じられたり、故障や破損が発生した場合は直ちに電源を切り、使用を中止してください。
事故や故障の原因になります。
- 分解、修理、改造をしないでください。
感電や故障の原因になるおそれがあります。
- 引火物・可燃物・電子機器をサウナルームの近くに置かない、持ち込まないでください。
火災・爆発のおそれがあります。

床

お願い

- 硬いものでこすったり、ひきずったり、重くて硬いものを落とさないでください。
傷がついたり、破損するおそれがあります。
- (排水機能ありの場合) サウナルームの排水口は最低1週間に1回、洗面器1杯の水をゆっくりと静かに流してください。
排水管の臭いのぼりを防止します。
- (排水機能なしの場合) サウナルームの排水口に水が溜まっている時は拭取ってください。
サウナルームの排水口には排水機能がありません。
水を放置すると死に水となり、異臭の原因になります。

目地・コーキング・ドアパッキン

お願い

- 床、壁、天井などの継目部分にある目地やコーキング、ドアパッキンを傷つけたり、切ったり、切れ目から引っ張ったりしないでください。
水漏れのおそれがあります。
- 入浴後、目地やコーキング、ドアパッキンにかびなどが生えないよう換気してください。
お手入れで取れないかびがついた場合は、目地やパッキンの交換またはコーキングの打ち直しが必要です。

壁・天井・ドア

お願い

- 硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
傷が付き破損するおそれがあります。
- 壁、天井への穴あけ、釘打ちなどは絶対にしないでください。
- 壁面に吸盤付の石けん受けなどを取り付けないでください。
吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。
- 勢いよく水をかけないでください。
サウナルーム内に水が浸入するおそれがあります。
水が浸入した場合、乾いた布で拭取ってください。

接続枠・ジョイント接続枠

お願い

- 熱湯(60℃)をかけないでください。
表面が変色したり、傷むおそれがあります。
- 毛染液、染料が付着した場合はすぐに拭取る。
しみこんで取れなくなるおそれがあります。
- シャンプーなどの洗浄剤が付着したままにならないように拭取ったり、洗い流す。
液に含まれる成分が部材を傷めるおそれがあります。

ヒーター

お願い

- ロウリュ時に発生する蒸気、水の飛び跳ねにご注意ください。
やけどのおそれがあります。
- ヒーターは加熱開始から入浴いただけるまで約30分かかります。余熱中のサウナストーンが十分にあたたまっていない間はロウリュを行わないでください。
故障の原因になるおそれがあります。

快適に使っていただくために

木部材

お願い

- 硬いものでこすったり、ひきずったり、重くて硬いものを落とさないでください。
傷がついたり、破損するおそれがあります。
- 木部材についた汗などは硬く絞った柔らかい布などでやさしく拭取ってください。
しみ、かびの原因になります。

その他

お願い

- 部品や器具などが破損したり、不具合で使用できなくなった場合はすぐに修理を依頼する。
そのままにしておくとけがをしたり、元に戻せなくなるおそれがあります。
- 折戸のパネルを開け閉めする際、摺動性が悪く、重い場合は、お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
- 毛染液、染料を使ったあとは軽くふき取り、すぐに洗い流してください。
しみ込んで取れなくなるおそれがあります。
- シャンプーなどの洗剤部材に残らないよう洗い流したり、ふき取ってください。
液に含まれる成分が部材を傷めるおそれがあります。

お手入れのキホン ①

キホン1 部分ごとの汚れを知りましょう。

壁・天井

- おもな汚れ
ほこり、かび、飛び散ったシャンプー

気をつけること 飛び散ったシャンプーなどの洗剤を放っておくとかびの原因になります。

気をつけること シャワールーム天井をお手入れしたときの天井に付いた洗剤を洗い流すためのシャワーは、換気扇などの機器にかからないようにしてください。
サウナルーム天井は洗剤を使用せずに水ぶきしてください。

気をつけること ヒーター稼働中とその直後は高温となります。十分に冷めてからお手入れください。

ドア・接続枠

- おもな汚れ
かび、飛び散ったシャンプーなどの洗剤

気をつけること 飛び散ったシャンプーなどを放っておくと、かび、ぬめりの原因となります。コーキング部やパッキンにかびが生えると落ちにくくなります。

換気扇

- おもな汚れ
グリルに付くかび、フィルターのごみ

気をつけること グリルを外して洗うときは電源スイッチを切ってください。

照明

- おもな汚れ
照明カバー・グローブに付くほこり、かび

気をつけること お手入れの際は、ヒーター・照明の電源を切り、高温でないことを確認してから行ってください。

水栓

- おもな汚れ
水栓本体:水滴のあと・ストレーナの目詰まり
ホース:かび

気をつけること 水滴のあとはそのままにしておくと頑固な汚れになって落ちにくくなります。

ヒーター

- おもな汚れ
ほこり、かび、割れたサウナストーンの飛散

気をつけること お手入れの際は、ヒーターの電源を切り、本体が冷めたことを確認して行ってください。

気をつけること サウナストーン交換時は必ず電源が「切」の状態、ヒーターが冷めてから行ってください。

排水まわり

- おもな汚れ
髪の毛などのごみ、ぬめり、
死に水による床の変質・傷み

(シャワールーム)

気をつけること 髪の毛がシャワールームの排水トラップにたまったままにしておくと、排水しにくくなります。

(サウナルーム)

気をつけること (排水機能なしの場合)
サウナルームの排水口は排水機能がありません。口ウリュなどで発生した水が排水口にたまり、死に水となります。

気をつけること (排水機能ありの場合)
髪の毛が排水口にたまったままにしておくと排水しにくくなります。

床(洗い場)

- おもな汚れ
湯あか、石けんかす
シャンプーなどの洗剤

気をつけること 汚れがたまったままにしておくと床の水はけが悪くなります。

木部材

- おもな汚れ
かび、シミ

気をつけること かび抑制のため使用後はサウナルームドアを開放し、サウナルーム内を換気してください。

気をつけること 使用により付着した汗、水気は乾いた布で拭取ってください。

折りたたみ式壁付チェア

- おもな汚れ
湯あか、石けんかす、シャンプーなどの洗浄剤、
天板のかび・シミ

気をつけること 壁に取付けた部分にたまる汚れを放っておくと頑固な汚れとなって落としにくくなります。
また、天板の水気は乾いた布で拭取ってください。

器具類

- おもな汚れ
水滴のあと、かび

気をつけること 器具を壁に取り付けた部分にたまる水分やほこりを放っておくと頑固な汚れの原因になります。

鏡

- おもな汚れ
飛び散ったシャンプー、水滴のあと

気をつけること 飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤を放っておくと水あかの原因になります。

目地・コーキング部

- おもな汚れ
かび、水あか

気をつけること 石けんかすなどの汚れを放っておくと、かびが生える原因になります。また、お手入れで取れないかびがついた場合は、目地の交換またはコーキングの打ち直しが必要になります。

収納棚

- おもな汚れ
水あか、シャンプーなど洗浄剤や化粧品の液だれ

気をつけること シャンプーなどの洗浄剤の液だれを放っておくとかび、ぬめりの原因になります。
クレンジングオイルや整髪料、アロマオイルなどの入浴剤の液だれを放っておくと棚を傷めるおそれがあります。

⚠ 注意



サウナルーム内の木部材のお掃除には洗剤を使用しない

変質・変色・変形のおそれがあります。
お掃除には固く絞った柔らかい布で水拭きしてください。



お手入れの際はサウナルームの排水口以外に水をかけない

また、シャワーを使用しない
感電や故障、木部材の変形、変色の原因になります。

お手入れのキホン ②

キホン2 洗剤と道具は正しく使いましょう

洗剤

洗剤はおもに界面活性剤のはたらきで汚れを化学的に分解し落とします。
クレンザーなどのみがき粉は化学的な分解で落ちない汚れを落とすために使用します。
汚れの種類にあわせて使いわけてください。

●浴室用中性洗剤



皮脂や石けんかすの付きやすいところ
(床、壁など)のお掃除に使用します。

お願い

- 洗剤を使用した後は、洗剤の成分が残らないよう確実に洗い流してください。

中性と表示されている洗剤でも、溶剤が成分として含まれているものがあり、その成分を付着したまま放置しておくと、棚やパッキンなど各種樹脂製品を傷め、変色や割れの原因となります。

●台所用中性洗剤



(オレンジオイルが含まれていないタイプ)
機器のリモコンパネルなど、石けんかすが付きにくい樹脂製品のお掃除に使用します。

●浴室用クリームクレンザー



(お風呂のルックみがき洗い: ライオン)
鏡にこびり付いてしまった汚れを落とすために使用します。

「お風呂のルックみがき洗い」以外は使わないでください。また、他の部材には使用しないでください。



注意



固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり近づけたりしない

金属やゴムが腐食・劣化して水漏れの原因になります。



ブラック色の部材(カウンター、換気扇グリルなど)は強くこすらない。

白いふきあとが残ることがあります。



サウナルーム内の木部材・折りたたみ式壁付チェアの座面お掃除には洗剤を使用しない

変質・変色・変形のおそれがあります。

お掃除には固く絞った柔らかい布で水拭きしてください。



注意



かび取り剤(漂白剤)

塩素系のかび取り剤は、頻繁に使用せず必要なときだけにしてください。また、必ず製品の注意事項を読み正しくご使用ください。特にパッキン、目地、コーキング材などシャワールームの樹脂部分に長時間付着させないようにしてください。

なお、メッキ部分や金属部品へは使用しないでください。さびてしまうことがあります。



使ってはいけない洗剤

次の洗剤・薬品は部品を傷めてしまうので使わないでください。

- みがき粉などの粒子の粗い洗剤
- シンナー ●酸性・アルカリ性の洗剤
- ベンジン ●漂白剤 ●酸素系漂白剤
- 激泡タイプのアルカリ性洗剤
- 重曹 ●セスキ炭酸ソーダ ●クエン酸



お願い

洗剤の扱いは慎重に…

洗剤は使い方を間違えると部材を傷めたり、人の体に有毒なものになってしまいます。気をつけて使いましょう。



使う前には必ず
容器の説明書を
読んでください。



洗剤は混ぜて
使わないでください。



使うときはゴム手袋を
してください。

お掃除道具

シャワールーム、サウナルームの素材にあわないお掃除道具を使うと、表面に傷がついたり、故障の原因になります。部位ごとに適した道具を揃えてください。

シャワー …シャワールームで使用いただけるお掃除道具
※折りたたみ式壁付チェアを除く

サウナ …サウナルームで使用いただけるお掃除道具
※折りたたみ式壁付チェアを含む

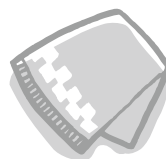
●柔らかいスポンジ



いちばんよく使います。台所で使う、裏面にナイロンたわしがあるものや、研磨剤が入ったものは使わないでください。

シャワー **サウナ**

●柔らかい布（古タオル）



水栓本体を磨いたり、照明のカバー（グローブ）や、木部材、機器のリモコンパネルを拭いたりするときに使います。

シャワー **サウナ**

●毛先が樹脂のブラシ



床全体を洗うときに使います。

壁など床以外の部分に使用しないでください。

シャワー

使ってはいけないお掃除機器

●高圧洗浄機



高圧な水によって部品がずれて水漏れすることがあります。

●スチーム洗浄機



高温の蒸気によって部品が変形する事があります。

●柄のついたスポンジ



天井などの手の届かないところのお手入れに使います。

シャワー **サウナ**

使ってはいけないお掃除道具

頑固な汚れは、たわしのような硬い毛先のブラシ類でゴシゴシこすってしまいがちですが、部材の表面を傷つけてしまうので、使わないでください。また、洗剤を使わず水だけで汚れを落とす高機能スポンジ（メラミンフォーム製スポンジ）は、長く使うと光沢がなくなってしまいますので、使わないようにしてください。

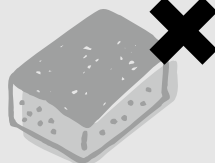
●割りばし



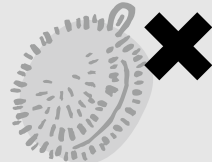
ドアの下枠にたまった汚れをかき出したり、とり除くために使います

シャワー **サウナ**

●ナイロン・スチールたわし



●たわし



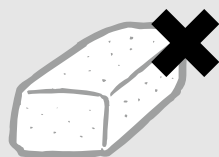
●ゴム手袋



手を保護するために使います。洗剤を使うときは必ず用意してください。

シャワー

●高機能スポンジ（メラミンフォーム製スポンジ） ●研磨剤入りスポンジ



●歯ブラシ



水栓のストレーナーなど小さな部品を掃除するときに使います。使い古して捨てる直前の、毛先がはみ出しているものが最適です。

ドアのパッキンや床まわりのコーキングなどに使用しないでください。

シャワー

お手入れのキホン ③

キホン3 お手入れの計画を立てて実践しましょう

お掃除の秘訣は早め早めの対処から。毎日のお手入れから毎年のお掃除まで、お手入れ計画を簡単に決めて、キレイなシャワールーム、サウナルームが保てるようお手入れを行ってください。

毎日

- 入浴した人が都度シャワーで床に残っている石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。
- 最後に入浴した人が壁、洗い場床、ドアなどシャワールーム全体に熱めのシャワーをかけて石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。
- サウナルームの床、排水口にたまった水気をふき取ってください。
- 収納の表面はシャンプーなど小物の液だれ・水気をふき取ってください。



- 排水口のヘアキャッチャーは、髪の毛やごみを捨ててください。
- 水あか防止のために、水気をふき取ってください。
- サウナドアを開放し、サウナルーム内を換気してください。
- 水で濡らして固く絞った柔らかい布で木部材をふいてください。
- ヒーター本体が冷めてから、柔らかい布でふいてください。
- (排水機能なしの場合)
サウナルームの床、排水口にたまった水気をふき取ってください。



お手入れ

週に1度

- 壁、床、ドア、鏡などシャワールーム全体の表面
柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、石けんかすや皮脂などの汚れを洗い流す。



- 水栓、ドアのパッキン
柔らかい布(タオル)に浴室用中性洗剤を薄めて適量とり、汚れをふき取る。
- (排水機能ありの場合)
洗面器1杯の水をゆっくりと静かに流してください。

月に1度

- 天井の表面
シャワールーム天井を柄の長スポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、汚れを洗い流す。
サウナルーム天井は水ぶきする。
- ドアの上枠換気部
換気弁を浴室側に開き、たまったごみを綿棒や棒にやわらかい布を巻き付けたものでふき取る。



- ドアの下枠やドアの排水溝
ドア枠の下枠(レール)にたまったごみを割りばしにティッシュを巻いたものなどで取り除く。
- タオル掛け、握りバーなどの器具類
柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、バーを握るようにして洗う。

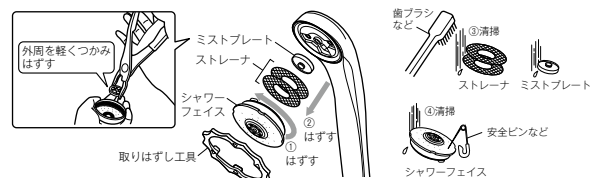
年に1度

- 換気扇類のグリル
グリルの汚れは、台所用中性洗剤を浸した布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。
- シャワーヘッド
シャワーフェイスを外して、歯ブラシや安全ピンなどでごみ・水あかを取り除く。
※詳細は水栓同梱の取扱説明書を参照ください。

半年に1度

- 壁付照明のグローブ、ダウンライトのカバー
ぬるま湯に浸した柔らかいタオルで汚れをふき取る。

- サウナストーン
ヒーター本体のブレーカーを切った状態で、サウナストーンを取出し、割れているストーンがあれば捨て、最後にサウナストーンを戻してください。



汚れてきたら

- 鏡
柔らかいスポンジにクリームクレンザーを適量とり、汚れを洗い流す。

- 洗い場の床(シャワールーム)
翌朝に水たまりが残ったり、汚れが溜まってきたら、浴室用中性洗剤を床全体に吹きかけ、2~3分置いてから、指定の道具でこすり洗い。



シャワールームのお手入れ①

排水口

●ヘアキャッチャー



毎日

排水フタを外して、ヘアキャッチャーをまわして外し、たまった髪の毛などの、ごみを捨ててください。



月に1度

スポンジなどで汚れを洗ってください。
細かい部分は歯ブラシを使ってください。

●排水口・封水筒

汚れが目立ったら

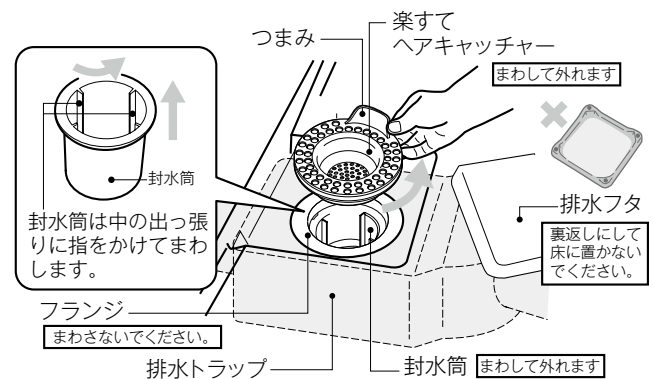
排水トラップの中にある封水筒の汚れが目立ってきたら、まわしながら外して浴室用中性洗剤を使って汚れを洗い流してください。
また、排水トラップ内に髪の毛がたまっていた場合は、手やピンセットなどで取り除いてください。

そのまま流すと詰まりの原因になります。

●排水フタ

週に1度

柔らかいスポンジで浴室用中性洗剤を使って、排水フタの表と裏、排水口全体を洗ってください。



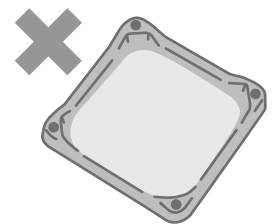
お掃除が終わったら、封水筒やヘアキャッチャー、排水フタを正しく取り付けてください。その後、トラップ内に封水をためるために洗面器1杯くらいの水を流してください。

お願い

- 洗剤を使用したあとは、十分に洗い流してください。洗剤の原液が付いたまま放っておくと部材を傷めます。
- 排水トラップのフランジはまわさないでください。ゆるんでトラップが外れると水漏れの原因となります。
- 排水トラップのフランジ周囲を歯ブラシなどでこすらないでください。パッキンを傷めるおそれがあります。

お願い

- 排水フタを裏返しにして床の上に置かないでください。排水フタの表面を傷めるおそれがあります。

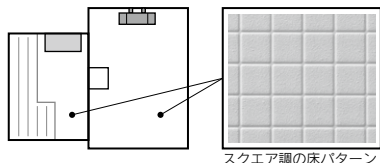


シャワールームのお手入れ②

床

床は排水効果の高いパターンによって乾きやすくなっていますが、石けんかすや皮脂などの汚れがたまると乾きが遅くなります。

汚れがたまり乾きが遅くなる前に、こまめなお掃除をお願いします。



毎日

入浴した人が都度床にシャワーをかけて、石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

週に1度

柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、石けんかすや皮脂などの汚れを洗い流してください。



汚れてきたら

翌朝に水たまりが残ったり、汚れが溜まってきたら、浴室用中性洗剤を床全体に吹きかけ、2～3分おいてから指定の道具で洗い流してください。

お願い

- シャンプーや洗剤は床に残らないよう必ず洗い流してください。

液に含まれる成分が床を傷めるおそれがあります。

- 床周囲に施されているコーキング部は歯ブラシでこすらないようにしてください。

コーキング材を傷めて、十分なシール効果を発揮できないおそれがあります。

壁

毎日

最後に入浴した人が壁にシャワーをかけて、身体を洗ったときに飛び散ったシャンプーなどの洗剤や皮脂を流してください。

週に1度

柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、石けんかすや皮脂などの汚れを洗い流してください。



目地・コーキング

毎日

目地・コーキングが施されている壁・床・浴槽などの部位といっしょにシャワーをかけて、石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

週に1度

浴室用中性洗剤を吹きかけ、柔らかいスポンジで表面をやさしく洗ってください。

お願い

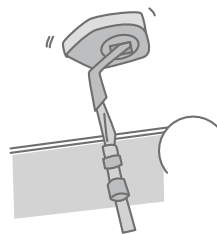
- 歯ブラシや楊枝などでこすらないでください。切れたり剥がれて漏水の原因となるおそれがあります。
- 目地・コーキングが切れたり、剥がれている場合は、修理する必要があります。

切れた状態でご使用すると水漏れするおそれがありますので、直ぐに取り替えてください。（有償）
お買い上げの販売店または保証書記載のサービス網一覧表の窓口にご連絡ください。

天井

月に1度

シャワールーム天井を柄の長いスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、汚れを洗い流してください。



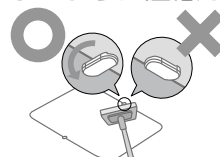
お願い

- 天井に付いた洗剤を洗い流すためのシャワーは、換気扇などの機器に水がかからないようにしてください。故障の原因となります。

清掃の際に注意していただきたいこと

- 点検口が落下するおそれがありますので、清掃の際には点検口を押上げないでください。
- 点検口フタ固定具が回転しないように注意してください。

回転した場合は、点検口フタ固定具を点検口側に向けてください。



サウナルームのお手入れ ①

⚠ 注意



お手入れの際は、サウナルームの排水口以外に水をかけない
また、シャワーを使用しない
感電や故障、木部材の変形、変色の原因になります。



サウナルームのお手入れは十分に冷めてから行う
やけどのおそれがあります。



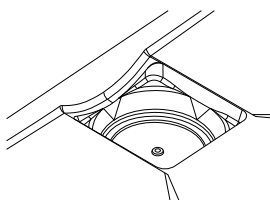
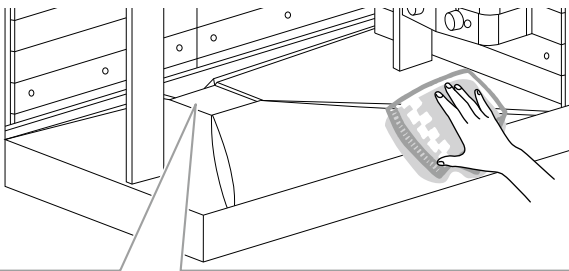
● 排水機能ありの場合
サウナルームの排水口にシンナーなどの溶剤を流さない
排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。

排水口・床

排水機能なしの場合

毎日

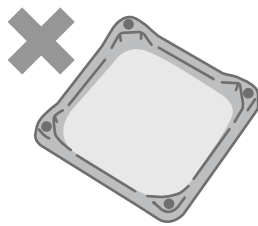
床・排水口の水気をふき取ってください。
特に排水口は、水がたまっていないか毎回確認ください。



排水口フタを外し、
たまった水をふき取る

お願い

- 排水フタを裏返しにして床の上に置かないでください。
排水フタの表面を傷めるおそれがあります。
- 排水口のフランジはまわさないでください。
ゆるんで排水口が外れると水漏れの原因となります。
- 排水口のフランジ周囲を歯ブラシなどでこすらないでください。
パッキンを傷めるおそれがあります。
- 洗剤などを使用したあとは、洗面器で水を静かに流し、十分に洗い流してください。
洗剤の原液が付いたまま放っておくと、部材を傷めます。



排水機能ありの場合

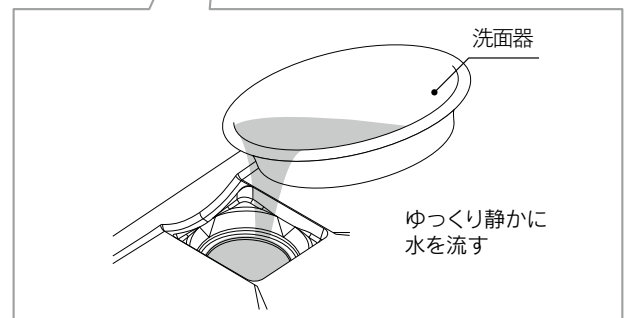
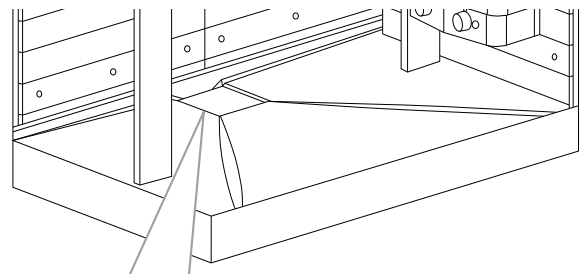
毎日

- 床・排水口の水気をふき取ってください。
- 排水フタを外して、ヘアキャッチャーをまわして外し、たまった髪の毛などの、ごみを捨ててください。



週に1度

- 排水フタを外して、ヘアキャッチャーをまわして外し、洗面器1杯の水を排水口へゆっくりと静かに流してください。



洗面器
ゆっくり静かに
水を流す

汚れが目立ったら

排水口の中の汚れが目立ってきたら、浴室用中性洗剤を使って汚れを洗い流してください。

また、排水口内に髪の毛がたまっていた場合は、手やピンセットなどで取り除いてください。

そのまま流すと詰まりの原因になります。

お手入れ

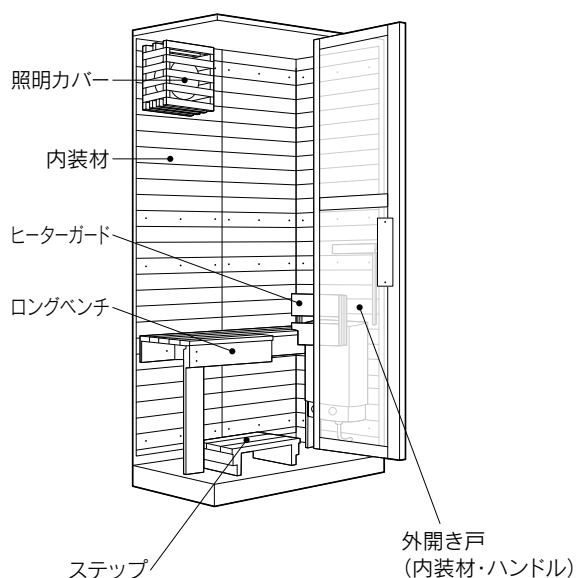
サウナルームのお手入れ ②

木部材

毎日

水で濡らして固く絞った柔らかい布で内装材・木製器具をふいてください。(余分な水分は拭き取ってください。)

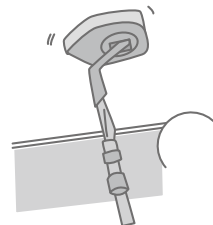
汗が付着するロングベンチ・ステップ・内装材は念入りにお手入れください。



天井

月に1度

柄の長いスポンジや柔らかい布を水で軽くしめらせ、やさしくこすってください。



⚠ 注意



お掃除(ふき掃除)は強くこすらない
傷がつくおそれがあります。



硬い素材のスポンジやブラシ類を使用しない
表面に傷がつく原因になります。



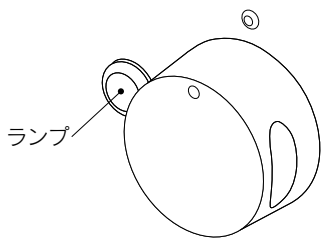
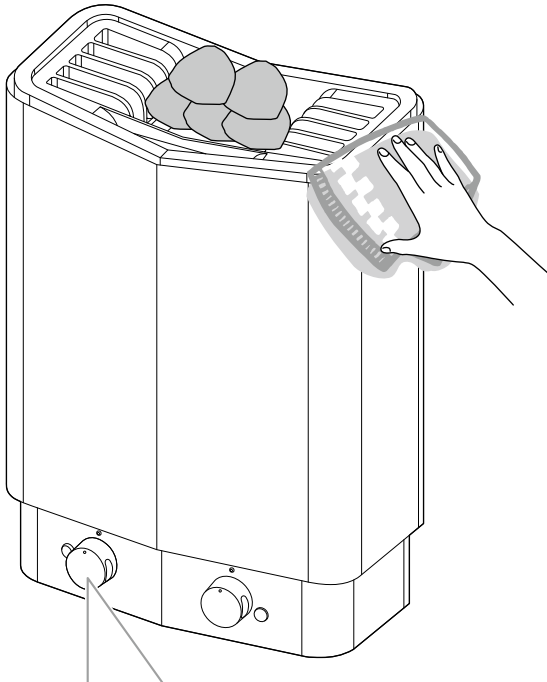
サウナルーム木部材のお掃除には洗剤を使用しない
変質、変色、変形のおそれがあります。

サウナルームのお手入れ ③

ヒーター

毎 日

ヒーター本体の電源を切り、ヒーターの温度が下がったことを確認してから、本体の水気をふき取ってください。

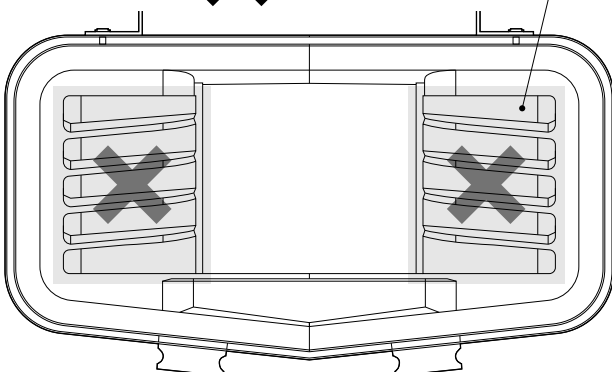


ランプ消灯=電源OFF



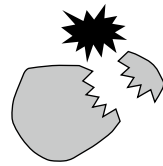
サウナストーンを積み上げない

ヒーター側室部

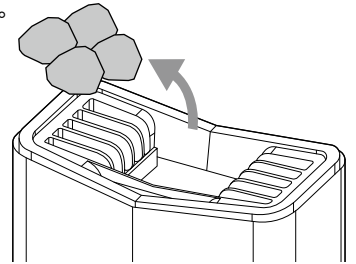


年に1度

サウナストーンは使用とともに割れが発生します。ストーンを取出し、欠けているストーンがあれば新しいものに交換してください。



割れているストーンは交換する



警告



サウナストーンは必ずヒーターメーカーの指定されたものを使用する

思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

サウナストーン仕様：急速加熱・冷却に耐える天然石（輝緑岩）



サウナストーンを積み上げる際や交換時には必ず電源が「切」の状態、ヒーターが冷めてから行う

感電ややけどの原因になるおそれがあります。

注意



サウナストーンが割れた状態で使用しない
思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。



サウナストーンをヒーター側室上に積み上げない
空気循環が妨げられ、過加熱を引き起こすおそれがあります。



設置して8～10年経過したヒーターは、お買い上げの販売店などに点検・交換を相談する
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。



古いサウナ石の廃棄方法は必ずお住いの自治体の分別ルールに従って廃棄してください

水栓のお手入れ①

各タイプ共通

水栓のメッキ表面は水あかが付くと、とても目立ってしまいます。
反対にピカピカになっていると、シャワールーム全体が明るくきれいに見えます。
最後に使った人が水気をふき取って、水あかが付かないよう予防しておきましょう。

●水栓の表面

毎日

最後に使った人が飛び散ったシャンプーの泡などをシャワーで洗い流してください。

水アカ予防のため、水気をふき取ってください。

週に1度

浴室用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れをふき取りその後、乾いた布で仕上げてください。

アドバイス

水栓の形は複雑だから、細かいところまできれいに汚れをふき取りにくいものです。

ゴム手袋の上に軍手をはめて、雑巾代わりにすると細かいところの汚れもふき取ることができて便利です。



お願い

●クレンザー（みがき粉）などの粒子の粗い洗剤やスチール、ナイロンタワシは使用しないでください。

器具の表面を傷付けます。

●酸性洗剤、塩素系漂白剤、銲物性潤滑剤、シンナー、ベンジン、アルコール類などは、器具の樹脂部分（ハンドル、シャワーヘッド、パッキンなど）を傷めますので使用しないでください。



●シャワーホース

毎日

ホースに飛び散ったシャンプーや石けんかすを洗い流してください。

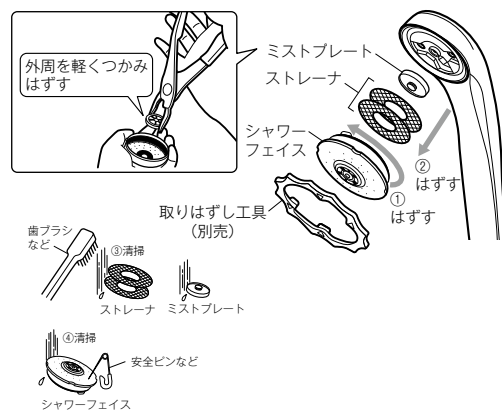
週に1度

スポンジに浴室用中性洗剤を付けて、水あかや石けんかすなどを洗い流してください。

●シャワーヘッド

年に1度

シャワーフェイスを外して、歯ブラシや安全ピンなどでごみ・水あかを取り除いてください。



定期点検について

●年に1度は、配管のまわりを見て水漏れがないか確認してください。

部品の劣化、磨耗による漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。

製品によって、清掃方法が異なりますので、水栓の取扱説明書をご覧ください。

水栓金具に不具合を感じた場合

水栓金具は安全・快適にご使用いただくために、定期的に部品の交換が必要です。不具合を感じた場合は、買い上げの販売店などにご相談ください。

専用取扱説明書の確認

水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。

水栓はこの他のタイプが使用される場合があります。



水栓のお手入れ②

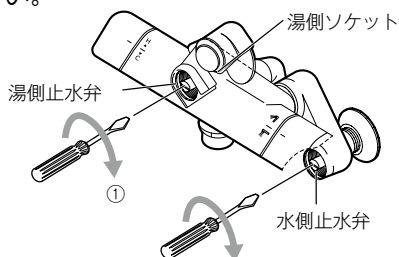
壁付サーモシャワー水栓・オーバーヘッドシャワー

ストレーナ

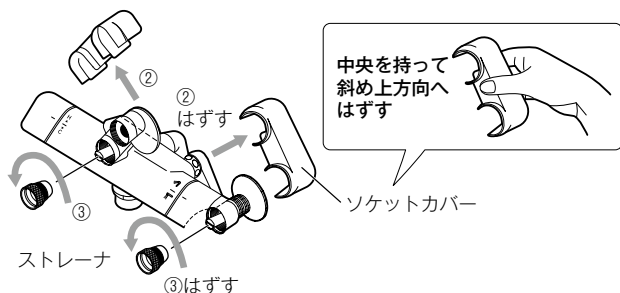
ストレーナにごみ、水あかなどがつまっていると、吐水量が少なくなったり、給湯器の着火が悪くなって温度調節がしづらくなります。

不具合を感じたときはストレーナのお掃除をお願いします。

- ①マイナドライバーなどで湯側・水側の止水栓を閉めてください。



- ②ソケットカバーを取り外し、①しめる
③ストレーナを取り外してください。



- ④ごみ・水あかを洗い流してください。



清掃後は逆の手順でストレーナ・ソケットを取付けてください。また、ストレーナを締め込むときは湯水切換ハンドルを吐水口側にしてください。

ストレーナは、湯側、水側の2カ所あります。

⚠ 注意

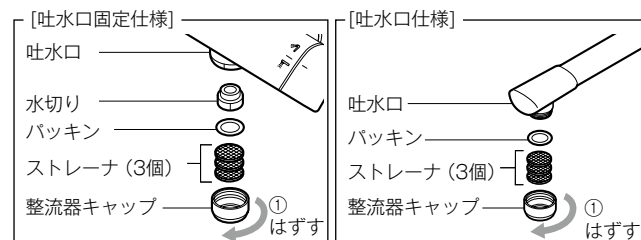
- ❗ ストレーナの掃除は、止水栓を閉め、湯側の取り付け部が熱くないことを確認してから行う

湯水が噴き出したり、熱い部品に触ったりすることで、やけどをするおそれがあります。

吐水口

吐水口の中に入っているストレーナもときどき外して、ごみ、水あかなどを取り除いてください。

- ①吐水口の整流器キャップを外して、ストレーナを取り出してください。



- ②歯ブラシなどで水洗いしてください。

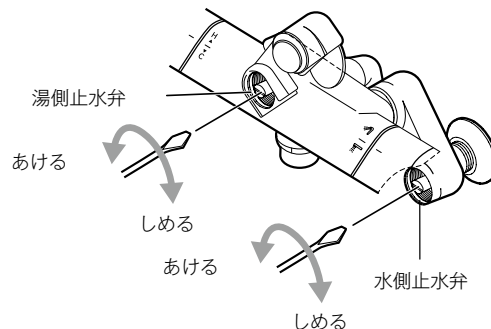


清掃後は逆の手順でストレーナ・整流器キャップを取付けてください。

止水栓による流量調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などに、止水栓でお好みの量に調節できます。

- 止水栓の流量調節ねじをまわしてください。
時計まわりにまわすと流量が少なくなり、反時計まわりにまわすと多くなります。



専用取扱説明書の確認

水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。

水栓はこの他のタイプが使用される場合があります。



ドアのお手入れ①

ドア(障子または框)

毎日

最後に入浴した人がドアにシャワーをかけて、身体を洗ったときに飛び散った石けんかすや皮脂を流してください。

週に1度

シャワールーム側は柔らかい布またはスポンジに浴室用中性洗剤を付けて、ドアの面材に付いた汚れを洗い流してください。

脱衣室側は浴室用中性洗剤をつけた柔らかい布でほこりなどの汚れをふき取ってください。

●アミ入りガラス

シャワールーム側は水で濡らした柔らかい布でほこりなどの汚れをふき取ってください。汚れがひどくて取れない場合は台所用中性洗剤を含ませてください。

割り込み

Q & A

Q.アミ入りガラスの面材に虹のような模様が見えるときがあります。汚れがついているのでしょうか。

A. 飛散防止用のフィルムは、蛍光灯や太陽光の反射先の映り込みの加減で表面に虹模様が見えることがあります。汚れではありませんので、そのままご使用ください。



お願い

■アミ入りガラスの面材

- フィルム面(脱衣室側)をふくときは必ず一定方向に動かして往復させないでください。

ふきあとが残る場合があります。



- フィルム面(脱衣室側)にスポンジやブラシ、研磨剤などは使用しないでください。

フィルムに傷が付き、フィルム本来の性能を発揮できません。

- フィルム面(脱衣室側)にステッカーやシール、吸盤などを貼ったり、マジックで書いたりしないでください。

フィルムを傷める原因となります。

ご使用で不具合を感じた場合

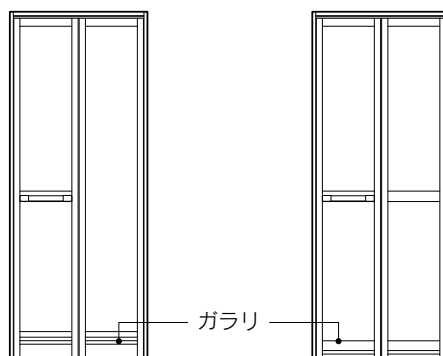
こんなときはすぐに使用をやめて修理をご依頼ください。

- ドアがスムーズに開閉できない。
- ドアのハンドルがガタつく。

ガラリ(換気口)①

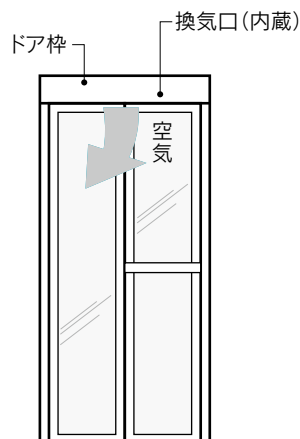
ドアにはガラリがあるものとないものがあります。

ガラリあり



ガラリがないタイプは、ドア枠上部に脱衣室から空気を取り込むための換気口が内蔵されています。

ガラリなし



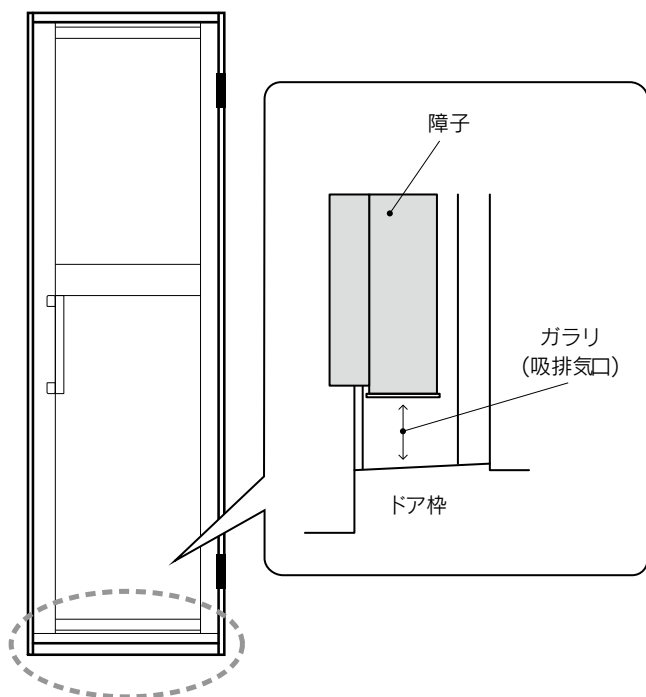
お願い

- ドア枠上部の換気口に手を入れないでください。手をはさんだり、換気口の構造を壊すおそれがあります。

ドアのお手入れ②

ガラリ(換気口)②

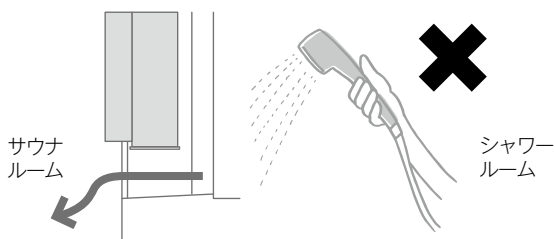
外開き戸(サウナルームドア)には障子とドア枠の間にガラリ(吸排気口)が設けられています。



お願い

- 勢いよく水をかけないでください。

サウナルーム内に水が浸入するおそれがあります。水が浸入した場合、乾いた布で拭取ってください。



⚠ 注意



ドア下にあるガラリ(吸排気口)をふさがない

息苦しく感じたり、ヒーターの故障につながります。

パッキン

週に1度

ドアの障子またはドア枠についているパッキンは、洗い場の排水が脱衣室側へ流れないようにするための重要なパーツです。

浴室用中性洗剤を付けた柔らかい布で汚れをふき取ってください。

パッキンは柔らかい部品ですので、傷めないよう汚れをやさしくふき取ってください。

お願い

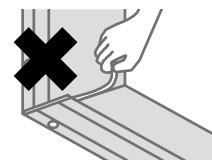
- ドアパッキンのお手入れにタワシや歯ブラシ、かび取り剤は使用しないでください。

表面を傷めるおそれがあります。



- ドアパッキンを傷つけたり、切ったり、取り外したりしないでください。

水漏れのおそれがあります。



⚠ 注意



ドアのパッキンが切れたり外れたまま使わない

水漏れのおそれがあります。

パッキンに不具合を感じた場合

ドアのパッキンは定期的に交換が必要な消耗品です。ご使用中に切れたり、外れて元に戻せなかったりと、不具合を感じた場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。



ドアのお手入れ ③

開閉具合の調整①

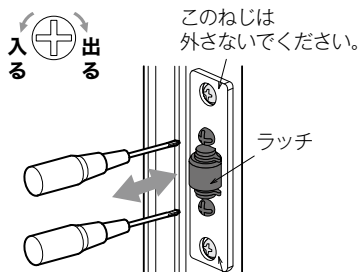
●外開き戸

ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときは、ドアのラッチ(ローラー状の出っ張り)とドア枠のラッチ受けの位置を調整してください。

ラッチ調整の仕方

●ラッチの調整

ドアの開閉力調整が必要な場合は、ラッチ付近のビスをドライバーで回して調整を行ってください。



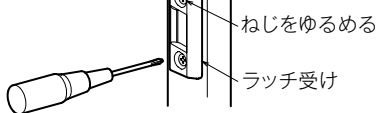
このねじは外さないでください。

このねじは外さないでください。

●前後調整

サウナルーム側

シャワールーム側



ねじをゆるめる

ラッチ受け

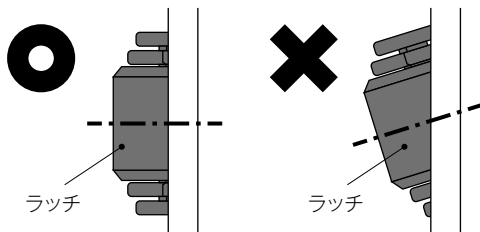
ゆるめ過ぎてラッチ受けが外れないよう気をつけてください。

ドアに貼られているラベルも参照してください。

お願い

●ラッチ上下のねじは均等に同じ方向にまわしてください。

上下ねじの回転数がかたよるとラッチが傾き、ドア開閉ができなくなるおそれがあります。



ラッチ

ラッチ

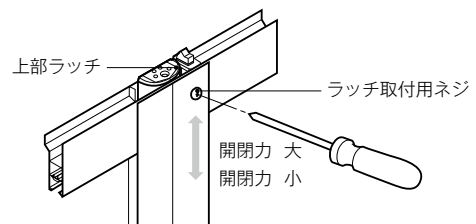
開閉具合の調整②

●折戸：ガリあり

ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、開閉が重いときは、ドアの上下ラッチとドア枠のレールがうまくかかっていないことが原因です。ラッチのかかりしを調整してください。

ラッチ調整の仕方

ラッチ取り付けネジをゆるめて調整してください。



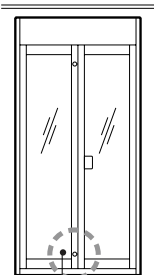
開閉力 大

開閉力 小

●折戸：ガリなし

ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、開閉が重いときは、ドアのラッチ(掛け金)とドア枠のレールがうまくかかっていないことが原因です。ラッチの調整ねじをゆるめてラッチと枠レールのかかり代を調整してください。

脱衣室側視

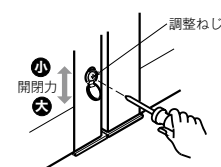


ラッチ

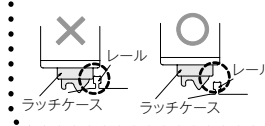
ラッチ調整の仕方

調整ねじにキャップが付いている場合はキャップをあけて調整を行ってください。

開閉が重い場合
⇒ねじ位置を上部へ
開閉が軽い場合
⇒ねじ位置を下部へ



開閉に支障が出る場合がありますので、ラッチケースがレールに干渉しないことを確認してください。



ラッチケース

ラッチケース

開閉重さ調整
① キャップを開ける
② 扉が動かないようハンドルを持ちながら
③ ドライバーでネジを左に1回転ゆるめる
④ ドライバーでネジを右に1回転締める
⑤ 調整後、キャップを閉める
キャップ
↑ かるい
↓ おもい

ガリなしの場合、ドアに貼られているラベルも参照してください。

ドアのお手入れ ④

ドア枠

ドア枠は髪の毛やほこりのようなごみがたまりやすい部分です。

下枠カバーを外すタイプがありますので、各ドアにあったお手入れをしてください。

ごみや砂が付着した場合は都度取りのぞいてください。
そのまま使用すると、ドア枠を傷めるおそれがあります。
ドア枠のお手入れにはゴム手袋を用意してください。



注意

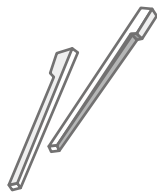


ごみや砂がかみ込んだ場合、取り除く
レール塗膜ハガレの原因になります。

●ドア枠(各タイプ)

月に1度

わりばしにティッシュなどを
巻きつけたものを利用して、
ドア枠の溝にたまった髪の毛
やほこりなどのごみをかき出
し取り除いてください。



月に1度

- 上枠換気部にほこりがたまると機能低下の原因となります。換気弁を浴室側に開き、たまったごみを綿棒や棒にやわらかい布を巻き付けたものでふき取ってください。

ドアの取り外し方は「ドアを開閉する」をご覧ください。

照明のお手入れ①

照明のお手入れについて

照明器具は電気機器ですので、安全のために正しい手順を守ってお手入れを行ってください。

警告



照明器具や換気扇のお手入れは電源（スイッチ）を切ってから行う
感電やけがをするおそれがあります。

警告



照明器具は点灯中および消灯後
しばらくは高温になるため
照明器具には手を触れない
やけどのおそれがあります。

注意

❗ 電球は必ず器具に表示してある種類、ワット（W）数の適合ランプを使用する

異なる種類、ワット（W）数のランプを使用しますと、過熱によりやけどや器具が変形、変色したり火災の原因となります。また、器具が変形すると防湿性能が失われ、漏電の原因となります。

❗ 照明器具には寿命があります

❗ 設置して 8～10 年経過した照明器具は、お買い上げの販売店などに点検・交換を相談する

設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

❗ カバー（グローブ）は、定期的に清掃する

グローブに埃などがたまると、グローブに熱がこもり、グローブの変質、変色、割れのおそれがあります。

⊘ 照明器具のお掃除に洗剤は使用しない
変質、変色、変形のおそれがあります。

⊘ 照明器具のお手入れには、安定した踏み台を使用する

転倒などによる転倒のおそれがあります。踏み台の下には敷物をするなどして、床を傷付けないようにしてください。

● 照明器具のLED素子・電球には、ばらつきがあるため同じ型式の商品であっても光色、明るさが異なる場合があります。

● LEDの平均的な寿命※は40,000時間です。
※LEDの一般的な寿命とは、初期の70%以下の明るさ、または不点灯の状態となる平均時間です。
サウナルーム照明器具はLEDではありません。
使用頻度によって寿命は異なります。

● カバーを外せないダウンライトは、光源に器具一体型LEDを採用しています。お客様ご自身によるLEDの交換はできません。照明器具一式での交換となります。

● 点灯しなくなった等の不具合が生じた場合はお買い上げの販売店などに、修理、交換を依頼してください。

照明のお手入れ ②

壁付照明(シャワールーム)

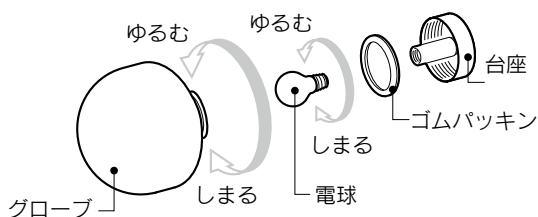
●カバー(グローブ)

半年に1度

電源(スイッチ)を切って、器具の温度が下がってからグローブをはずしてください。汚れはぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。
グローブの水気を取り除いたあと、照明の台座に取り付けてください。

壁付照明のグローブと電球の外し方

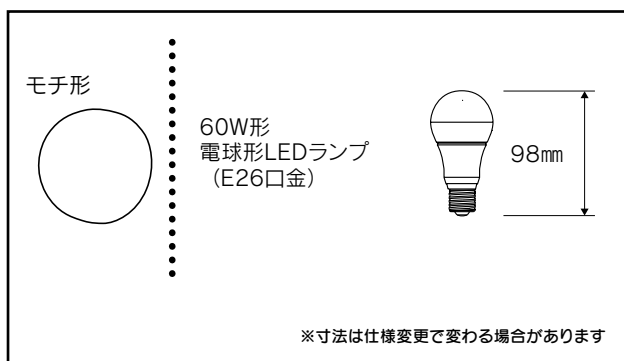
取り外し方



取付の際は、ゴムパッキンを忘れずに入れてください。しめすぎ・ゆるめすぎのないよう気を付けてください。方向のあるグローブの場合は、水平になるように取り付けてください。

●電球の交換

壁付照明では以下の電球のいずれかが使用されています。電球の交換が必要になったときはそれぞれの照明で指定している電球に交換してください。



●電球形LEDの使用についての注意

- ①密閉形や防湿、防雨の器具に対応したもの。
- ②ワット数、口金サイズに適合しているもの。
- ③交換前の電球より極端に大きなものは避ける。
(めやすとして+10mm以内)
- ④光は全方向型であること。(電球形LEDランプの場合)

- 電球の種類や品番は照明本体に表示されています。
- 指定された品番の電球を見つける事ができない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。
- イラストと違う形状の壁付き照明が取り付けられている場合がありますが、その際も電球は照明本体の表示に適合するものをお使いください。

ダウンライト

ダウンライトはカバーを外せないタイプで、LEDを光源としていますが、ランプは内蔵で交換が必要になった場合は本体ごと入れ替えるタイプです。一般的な白熱球とは違う特性がありますので、以下の内容をご理解の上でお手入れをお願いします。掃除は外側のカバーだけになります。

●カバー

半年に1度

電源(スイッチ)を切って、器具の温度が下がってからカバーに付いたホコリや汚れをぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。手が届かないときはペーパーモップに布をセットしてふきましょう。

専用取扱説明書の確認

ダウンライトは専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。



照明のお手入れ ③

壁付照明(サウナルーム)①

●照明カバー

半年に1度

サウナルーム室内・照明器具が高温でないことを確認後、照明カバー、グローブをはずしてください。汚れは、

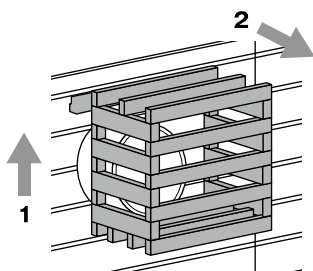
- ・照明カバー：水で濡らして固く絞った柔らかい布
- ・グローブ：ぬるま湯にひたした柔らかい布でふき取ってください。

照明カバーの取外し方

※照明カバーを取外しする際、天井・照明本体などを傷つけないよう注意して作業を行ってください。

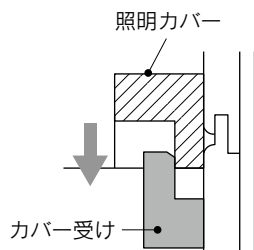
外し方

照明カバーを上を押上げ、手前に引ってください。



取付け方

照明カバーをカバー受けに引っかけてください。



グローブ・電球の取外し方

グローブ・電球の取外し方については専用の取扱説明書をご覧ください。

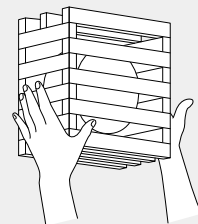


⚠ 注意



照明カバー、グローブの取付け、取外しは必ず両手でしっかりと持つて行う

照明カバー、グローブを落とすと、足などにけがをするおそれがあります。また、変形、割れなど破損する原因になります。



壁付照明(サウナルーム)②

●電球の交換

電球の交換が必要になったときは必ず指定している電球に交換してください。

メーカー	定格電圧	適合ランプ
Panasonic	AC100V	ミニ電球 110V用 40形(36W)まで LDS110V36W・W・2

⚠ 警告



電球は必ず器具に表示してある種類、ワット(W)数の適合ランプを使用する

異なる種類、ワット(W)数のランプを使用すると、過熱によりやけどや器具が変形、変色したり火災の原因になります。

専用取扱説明書の確認

サウナルーム照明には専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。



器具類のお手入れ

収納棚

毎 日

ボトルの液だれや小物の水分などを、棚と小物の両方ともふき取ってください。

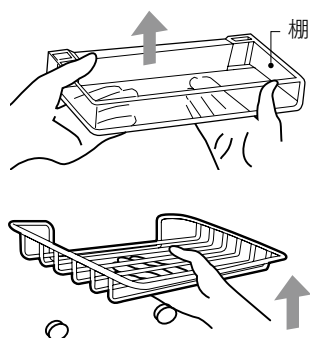
週に1度

収納している小物を取り出し、棚板を取り外して、浴室用中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで棚板を洗ってください。その後は洗剤が残らないよう洗い流して、棚板を取り付けてください。

棚板の外し方

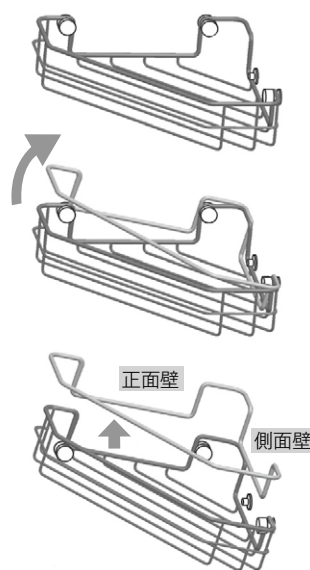
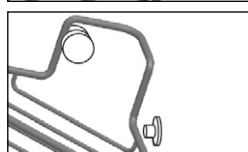
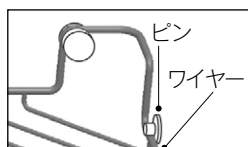
- ワイドシェルフ
- スマートシェルフ
- ワイヤーラック(浅型)

棚を真上に持ち上げて外してください。



- ワイヤーラック
(コーナー型)

棚の端を斜め上に持ち上げ、ピンの下にもぐっているワイヤーをずらしてから、棚全体を真上に持ち上げて外してください。



取付時は逆の手順です。

※はまりにくい場合は、側面壁に押し付けながらラックを下ろしてください。

※鏡に手が当たらないようお気をつけください。

点検とメンテナンス

一般的な浴室ユニットの点検とメンテナンスを記載しています。

定期的なお手入れ、点検、部品の交換をしていただくことで、より長く、安心、快適に商品をご使用いただけます。

※✓印の部品には、コーキング部、目地、パッキン類があります。

お手入れ

定期点検

年に1回は「お客様ご自身」で点検を

換気扇・換気乾燥機類

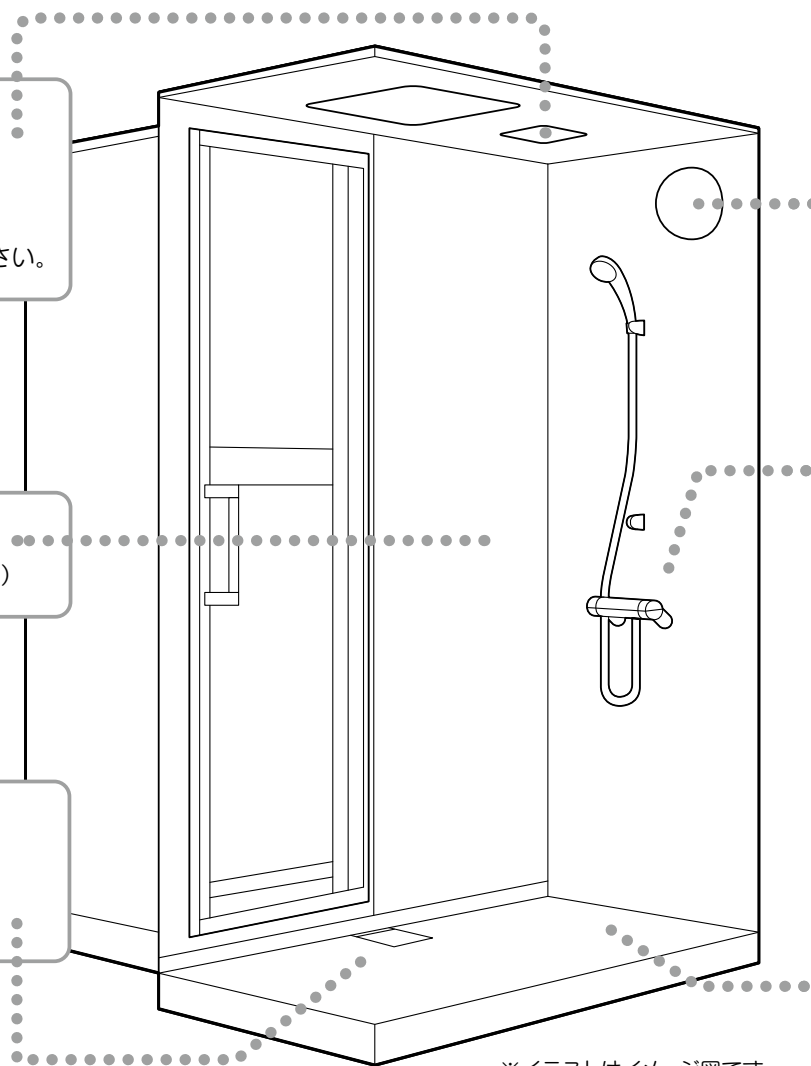
- ☐ カバーのガタツキ・垂れ下がり
(落下によるけがのおそれ)
 - ☐ 焦げ臭い・異音
(モーターの焼き付きによる作動不良)
- ※点検内容は、専用の取扱説明書も確認してください。

天井・壁 ✓

- ☐ つなぎ部分の目地材の外れ・切れ
(浴室外への蒸気や水漏れによる家財への影響)

排水トラップ ✓

- ☐ ゆるみ・ひび割れ・ガタツキ
(浴室外への水漏れの原因)
- ☐ パッキンの切れ・はがれ
(悪臭の原因)



※イラストはイメージ図です。

メンテナンススケジュール

維持・管理の目安に

定期的な部品交換や調整

5年

交換

コーキング部・目地・パッキン類
※対象部品: 上記✓印

●ご使用の環境により5年以内であっても切れが生じる場合
切れた状態で使用を継続すると、水漏れの原因になりま

換気器具

フィルター※1、その他の部品交換

水栓・シャワー

シャワーホース※1、その他の部品交換

照明器具

電球交換※2

ドア

動きの調整※1、部品・部材・レールの異常、損耗確認

このスケジュールは、部品交換や調整、本体交換時期のおおよその目安としてご活用ください。

なお、製品に不具合が生じた場合は、早めに対応してください。

※1 この項目は、お客様ご自身で交換、調整が可能です。部品のご購入は取扱説明書裏面表紙の相談窓口へご連絡ください。※2 電球型照明のみ、



シャワールーム

気持ちよく使うために
みんなで点検しよう!



不具合(下記のような事象)があったときは
取扱説明書裏面表記の相談窓口へご連絡ください。

照明器具

- ☐ カバーがない・グローブがない
- ☐ グローブの割れ、ガタツキ、ソケット部の焦げ
(けが/やけど/火災の原因)

水栓・シャワー

- ☐ 水漏れ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
 - ☐ 温度調節不良
(高温の湯によるやけどのおそれ)
 - ☐ メッキはがれ
(鋭利な小口によるけがのおそれ)
- ※点検内容は、専用の取扱説明書も確認してください。

床

- ☐ コーキング部の切れ・はがれ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ つなぎ部分の目地材の外れ・切れ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 洗い場のひび割れ
(けがのおそれ/浴室外への水漏れによる家財への影響)

ドア

- ☐ ハンドル・引手のガタツキ・ロックの動き不良
- ☐ 回転軸部品のガタツキ・ひび割れ・外れ
- ☐ ドア開閉時のかたさ・おもさ
(開閉不能による浴室内への閉じ込め、
ドア外れのおそれ)
- ☐ パッキンの傷み・切れ・外れ
(脱衣室側への浸水による床材劣化)
- ☐ 面材の割れ・外れ
(けがのおそれ/脱衣室側への水漏れによる
家財への影響)

折りたたみ式壁付チェア

- ☐ 天板の割れ・ササクレ
(けがのおそれ)

鏡

- ☐ ひび割れ・取付金具のガタツキ
(割れ・落下によるけがのおそれ)

その他器具

- ☐ ガタツキ・割れ
(けがのおそれ)

お手入れ

10年

交換

15~20年

交換

があります。
すので、状況に応じて交換する必要があります。

本体交換	フィルター※1、その他の部品交換
部品交換または、水栓金具本体交換	シャワーホース※1、その他の部品交換
電球交換※2、本体交換	電球交換※2
部品交換または、障子交換、部品・部材・レールの補修等	動きの調整※1、部品・部材・レールの異常、損耗確認

バスルームのお取り換えをご検討

お客様ご自身で交換が可能です。

点検とメンテナンス

一般的な浴室ユニットの点検とメンテナンスを記載しています。

定期的なお手入れ、点検、部品の交換をしていただくことで、より長く、安心、快適に商品をご使用いただけます。

※✓印の部品には、コーキング部、目地、パッキン類があります。

お手入れ

定期点検

年に1回は「お客様ご自身」で点検を

照明器具

- ☐ カバー、グローブがない
- ☐ カバーのひび割れ、ガタツキ、ソケット部の焦げ
(けがのおそれ/火災の原因)

木部材

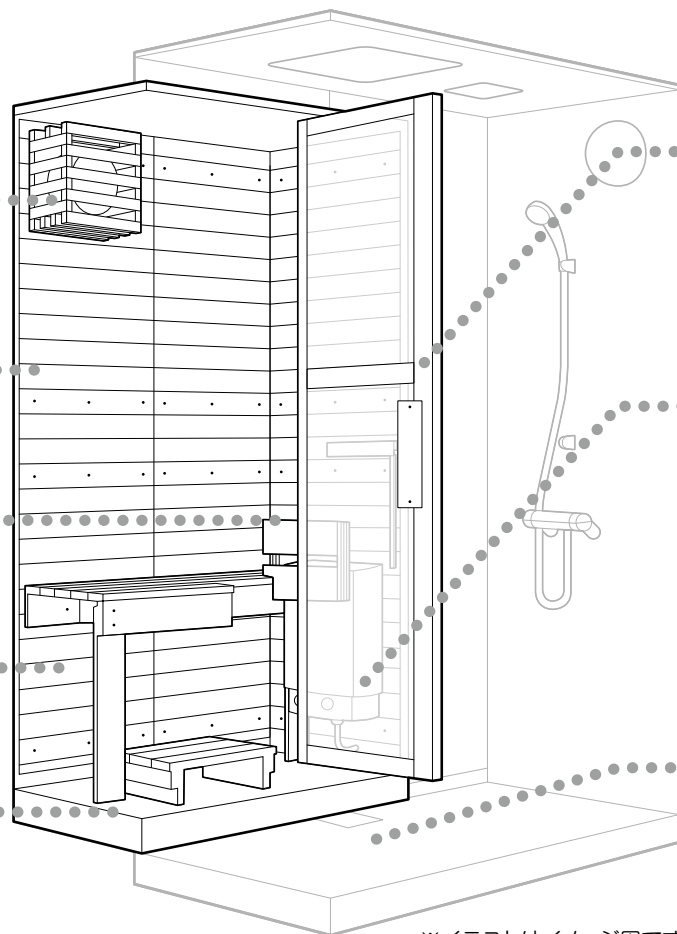
- ☐ 割れ・ササクレ・ガタツキ
(けがのおそれ)
- ☐ ビスのゆるみ、飛び出し
(けが/やけどの原因)

排水口 ✓

- ☐ 水たまり
(床の変質/悪臭の原因)
- ☐ ゆるみ・ひび割れ・ガタツキ
(サウナルーム外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ パッキンの切れ・はがれ
(悪臭の原因)

天井 ✓

- ☐ つなぎ部分の目地材の外れ・切れ
(浴室外への蒸気や水漏れによる家財への影響)



※イラストはイメージ図です。

メンテナンススケジュール

維持・管理の目安に

定期的な部品交換や調整

5年

交換

コーキング部・目地・パッキン類
※対象部品：上記✓印

- ご使用の環境により5年以内であっても切れが生じる場合
切れた状態でご使用を継続すると、水漏れの原因になりま

ヒーター

日々のお手入れ
サウナストーン交換※2

照明器具

電球交換※1

ドア

動きの調整※2、部品・部材、損傷確認

このスケジュールは、部品交換や調整、本体交換時期のおおよその目安としてご活用ください。

なお、製品に不具合が生じた場合は、早めに対応してください。



サウナルーム

気持ちよく使うために
みんなで点検しよう!



不具合(下記のような事象)があったときは
取扱説明書裏面表記の相談窓口へご連絡ください。

ドア✓

- ☐ 引手のガタツキ・ロックの動き不良
- ☐ ドア開閉時のかたさ・おもさ
(開閉不能による浴室内への閉じ込め、
ドア外れのおそれ)
- ☐ パッキンの傷み・切れ・外れ
(脱衣室側への漫水による床材劣化)
- ☐ 面材の割れ・外れ
(けがのおそれ/脱衣室側への水漏れによる家財への影響)

ヒーター

- ☐ 異音などの異常
- ☐ サウナストーン割れ
(事故・火災のおそれ)
- ☐ ダイヤルの動き不良
- ☐ 内部発熱体
(火災のおそれ)

床✓

- ☐ コーキング部の切れ・はがれ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ つなぎ部分の目地材の外れ・切れ
(浴室外への水漏れによる家財への影響)
- ☐ 床のひび割れ
(けがのおそれ/浴室外への水漏れによる家財への影響)

その他器具

- ☐ ガタツキ・割れ
(けがのおそれ)

お
手
入
れ

10年

交換

15~20年

交換

があります。
すので、状況に応じて交換する必要があります。

本体交換

電球交換※1、本体交換

電球交換※1

部品交換または、障子交換、部品・部材の補修等

動きの調整※2、部品・部材、損傷確認

バスルームのお取り換えをご検討

※1 照明電球はお客様ご自身で交換が可能です。

※2 この項目は、お客様ご自身で交換、調整が可能です。部品の購入は取扱説明書裏面に記載の相談窓口までご連絡ください。

「あれ？」と思ったら ①

商品に異常を感じたときは、次の点をお調べください。
また、水栓、換気扇など、専用の取扱説明書がある機器はそちらもあわせてお調べください。



現象

原因

処置

●温度調節がうまくできない。



-▶ 湯側、水側の止水栓は十分開いていますか。
-▶ 給湯器から十分なお湯がきていますか。
-▶ 吐水口キャップ、ストレーナやシャワーヘッド散水板の目づまりはありませんか。

-▶ 止水栓で流量を調節してください。
チェック▶ 水栓の取扱説明書
-▶ 給湯器の設定温度(50℃以上)を確認してください。
チェック▶ 給湯器の取扱説明書
-▶ 吐水口、ストレーナやシャワーヘッド散水板のお掃除をしてください。
チェック▶ 42～43ページ、または水栓の取扱説明書

●水栓金具のハンドルをまわすと、カンまたはブーンという音がある。

-▶ 配管が振動する音です。
-▶ 水栓金具のハンドルは、ゆっくりまわしてください。
チェック▶ 12ページ

●水栓の取り付け部から水が漏れる。

-▶ 取り付け部に入っているパッキンが劣化していることがあります。
-▶ パッキンの交換が必要です。お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
チェック▶ 60ページ

●シャワールーム天井に水滴がたまる。

-▶ 湯気やミストなどが天井に付き、成長してできたものです。
-▶ 入浴後は換気扇をまわしたり、窓をあけるなどして、シャワールーム内を乾燥させてください。

●シャワールームで入浴中に寒く感じる。

-▶ 換気扇を運転しながら入浴していませんか？
-▶ 入浴中は換気扇の運転を止めてください。
チェック▶ 29ページ

●サウナルームで入浴中に寒く感じる。

-▶ ドア下ガタリより外気が流入して寒く感じる場合があります。
-▶ 異常ではありません。ロングベンチ上で足を伸ばしてご入浴ください。
チェック▶ 23ページ

●換気扇を運転しながら入浴すると、換気扇より水が落ちてくる。

-▶ 冬期などは特に湿気を多く含んだ空気が換気扇(グリル部)に当たり、水滴となって落下します。異常ではありません。
-▶ 入浴中は換気扇の運転を止めてください。

「あれ？」と思ったら ②

現 象	原 因	処 置
●ヒーターの電源が入らない。	▶ ブレーカーがOFFになっていませんか？▶	ブレーカーがONの状態でもヒーターの電源が入らない場合、ケーブルの断線・本体の故障が考えられます。お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック▶ 60ページ
	▶ ヒーター内部の安全装置が作動していることが考えられます。▶	本体内部温度が過加熱となっています。サウナ石の積み方、細かなサウナ石の混入が原因と考えられます。運転を止め、ヒーターが冷めてから内部を確認してください。それでも直らない場合はお買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック▶ 60ページ
	▶ ヒーター内部の絶縁故障が考えられます。▶	ケーブルの断線・本体の故障が考えられます。お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック▶ 60ページ
●サウナルーム内の温度が上がらない。	▶ タイマー機能を使用していませんか？▶	連続運転時間は3時間までとなります。また、余熱には30分程度かかります チェック▶ 20～21ページ
	▶ ヒーター内部の安全装置が作動していることが考えられます。▶	本体内部温度が過加熱となっています。サウナ石の積み方、細かなサウナ石の混入が原因と考えられます。運転を止め、ヒーターが冷めてから内部を確認してください。それでも直らない場合はお買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック▶ 60ページ
	▶ 最大設定の場合、室内中央付近で約60℃～80℃の雰囲気温度となります。▶	異常ではありません。そのままご使用ください。 チェック▶ 21ページ
●ヒーターがON/OFFを繰り返す。	▶ サウナルームの室温調整のため、ヒーターは自動でON/OFFを行います。▶	異常ではありません。そのままご使用ください。 チェック▶ 21ページ
●サウナルーム内から異臭がする。	▶ ヒーターを初めて運転する際にサウナストーンに付着した異物などで異臭がすることがあります。▶	数回使用しても異臭がする場合は故障など他の原因が考えられます。直ちに使用を止め、お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック▶ 60ページ。
	▶ 排水口に水がたまっている可能性があります。▶	排水口に水がたまっていないか確認し、ふき取ってください。 チェック▶ 39ページ

※ヒーターにてその他異常を感じた際は、直ちに使用を止めお買い上げの販売店またはサービス網一覧の窓口までご相談ください。

「あれ？」と思ったら ③

現象	原因	処置
●照明が点灯しない。	●電球切れではありませんか。 ●電球がゆるんでいませんか？	●電源(スイッチ)を切って、照明に指示してある新品の電球に交換してください。電球を交換できないタイプは照明本体の交換となります。 【チェック】 48～50ページ ●電源(スイッチ)を切って、電球を締めなおしてください。電球を交換できないタイプは照明本体の交換となります。 【チェック】 48～50ページ
●鏡表面の汚れが取れない。	●水滴が乾いて、こびり付いたためです。	●クリームクレンザーにて、お手入れしてください。
●シリコン、目地、木部材にかびが生える。	●シャワールーム、サウナルームの換気とお手入れは十分ですか。	●使用後はサウナルームドアを開放してシャワールームもしくは脱衣所の換気扇を運転させ、バスルーム内を換気してください。 【チェック】 32～33ページ
●脱衣室側から引戸のレールに水が流れるのが見える。	●引戸は浴室の外にレールがあるため、浴室からレール上にシャワーをかけると水が流れて見えることがあります。	●異常ではありません。そのままご使用ください。
●サウナのドアが自然に開く。または、ドアが閉まりにくい。	●ドアのラッチ(掛け金)がドア枠のラッチ受に正しい位置に納まっていない場合があります。	●ラッチが正しい位置に納まるようラッチ受の位置を調整してください。 【チェック】 46ページ
●折戸のドアが自然に開く。または、開閉が重い。	●ドア下にあるラッチ(ボール状の出っ張り)がドア枠のレールにうまく引っ掛かっていない場合があります。 ●ラッチの調整具合とは別の要因があります。	●ラッチがレールにうまく引っ掛かるようラッチを調整してください。 【チェック】 47ページ ●お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 【チェック】 60ページ
●開閉時に音がする。	●水密性を保つためのパッキンと障子の擦れ音がある場合があります。	●異常ではありません。そのままご使用ください。
●開閉時に風切り音がする。	●気密性が高いので、換気設備の性能によっては、風切り音が発生する場合があります。	●異常ではありません。ドアをゆっくり開閉してください。
●サウナルームの内装材の色がバラバラ。	●内装材は天然木を使用しているため、色や仕上がりには違いがあります。また、長期使用において変色したり寸法変化する場合があります。	●異常ではありません。そのままご使用ください。
●排水口の水の流が悪い。	●排水口にゴミがたまっていますか。	●排水口のゴミを取り除き、捨ててください。(排水口の中には捨てないでください。) 【チェック】 37・39ページ
●サウナルームの排水口にうっすら水が残る。	●排水口の形状の特性上、中に水が残る場合があります。	●異常ではありません。そのままご使用ください。 【チェック】 39ページ

This image shows a full page of a worksheet designed for handwriting practice. It consists of multiple rows of horizontal dashed lines spaced evenly across the page, providing a guide for letter height and placement. The background is plain white, and there are no other markings or text present.

アフターサービスについて

アフターサービスを依頼する前に

- 商品に不具合を感じたときは「あれ?」と思ったら、を見てもう一度確認してください。
それでも不具合が直らない場合は、自分で修理しないで、お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
- 電化製品は、それぞれの製造元によるサービスで対応いたします。

ご相談の際はお手もとに保証書をご用意ください。

保証と保証期間について

- この取扱説明書には保証書(別紙)が付いています。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づき無料修理いたします。保証期間は、保証書に明記してあります。
- 保証期間中でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をご覧ください。
- 保証期間を過ぎている場合、修理によって機能が維持できる場合には、ご希望により有償にて修理をいたします。ただし、補修用性能部品の保有期間を経過していた場合は、修理できない場合があります。
※修理料金：部品代＋技術料＋出張料
- お客様による改造・仕様変更での不具合・事故に関しましては、保証対象外、及びPSEマーク無効となります。

改造による事故が発生した場合、改造を行なった者が法的責任を問われる可能性があります。

サウナ&シャワールーム廃棄についてお願い

- このサウナ&シャワールームを廃棄される場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼ください。

サウナ&シャワールームの廃棄部材が不法投棄等されていた場合、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

アフターサービスを依頼するときは

- アフターサービスを依頼するときは次のことをお知らせください。

- 【1】商品の「メーカー型式」
- 【2】不具合の状態(できるだけ詳しく)
- 【3】住所・氏名・電話番号

商品の「メーカー型式」はドア上側に貼り付けられています。

器具の追加や変更について

- 器具を新しく追加したり、位置を変更するときは、お求めの販売店または、別添のサービス網一覧表の窓口まで相談ください。また、サウナルーム内の器具追加、位置変更はできません。

有償点検のおすすめ

- 長く快適に使っていただくため、ご使用に不具合がなくても、有償ですが点検を受けていただくことをおすすめします。(お使い始めてから2年以降)
また、以下の場合も有償の点検をおすすめします。
 - ・温泉地域や海岸付近など特に腐食がおきやすい地域でご使用されている場合。
 - ・別荘地・転勤などで、長期間ご使用されない場合。
- 点検については、お買い上げの販売店または別紙に記載のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
- 点検料金は、点検料(技術料)＋出張料＋部品代(交換した場合)となります。

こんな部品は定期的に交換です。

ご使用中に不具合を感じたときは、お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口までご相談ください。

●水栓本体

●シャワーホース・ヘッド

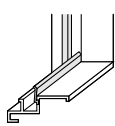
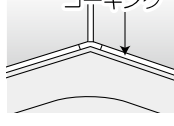
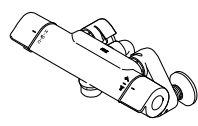
●目地・コーキング

●パッキン類

●照明器具の電球

●照明器具
ダウンライト

●サウナストーン



照明器具の電球・サウナストーンはお客様で交換をお願いします。

交換の目安は、パッキンや目地材など消耗部品でご使用開始から3～5年、水栓本体やドア、換気扇、照明器具など器具部品で5～10年です。ただし、お客様のご使用状況により大きく異なります。また、保証期間ではありません。

●お客様ご相談窓口のご案内

窓口 全般

- 商品のお問い合わせ・修理のご依頼は、電話混雑時には繋がりにくいので、弊社ホームページ www.housetec.co.jp お客様サポートの「よくあるご質問」「商品のお問い合わせ」「修理のご依頼」のweb画面からのご利用をおすすめいたします。
- 補修部品のご購入は弊社ホームページでご案内のショップをご利用下さい。メールでのお問い合わせも受付しております。

お電話でのお問い合わせは下記にて承っております。

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)

個人のお客様
0120-801-761
※携帯電話の場合 **0570-001-761** (有料)
販売・施工など業者様
0570-071-761 (有料)
●受付時間 9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様
0120-102-471
※携帯電話の場合 **0570-002-471** (有料)
販売・施工など業者様
0570-022-471 (有料)
●受付時間 365日 24時間
(修理訪問は日中、地域により休日あり)

補修部品のご購入は(代引き販売窓口)

個人のお客様
0120-455-621
※携帯電話の場合 **0570-002-621** (有料)
販売・施工など業者様
0570-022-350 (有料)
●受付時間 9:00～17:00(12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

ヒーター本体に関するお問い合わせは

TYCO 株式会社オストコーポレーション
TEL.045-475-0800
FAX.045-475-0826
●受付時間 月～金曜日 9:00～17:00(土日祝休み)
※年末年始・大型連休・夏期休業など臨時休業あり

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841 Tel. 027-395-0410

www.housetec.co.jp

2W00005332

2025.7